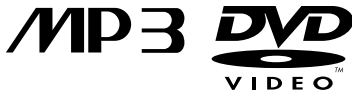
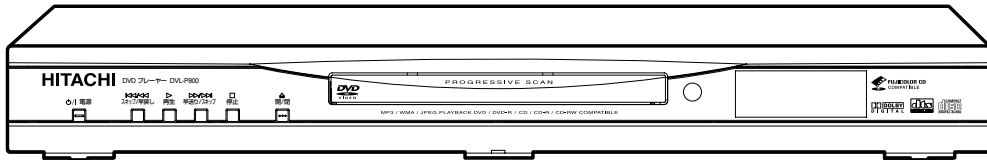
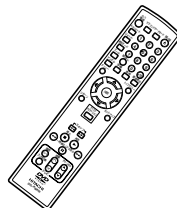
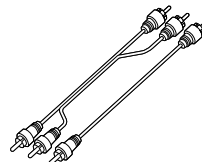
HITACHI
Inspire the Next

DVDプレーヤー
取扱説明書

形　名
DVL-P800

付属品が同梱されているかお確かめください。

ワイヤレスリモコン
(DVL-RM800)

映像・音声コード

単3形乾電池(2個)
(動作確認用)

このたびは、日立DVDプレーヤーをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

保証書について

・保証書に販売店名と購入日（購入日を証明する納品書や領収書）の記入、納品書や領収書がありませんと保証期間内でも万一故障がある場合に有償修理になることがあります。内容をご確認の上、大切に保管してください。

もくじ

ご注意　必ず守ってください

はじめに　お使いになる前に

正しく　正しい設置・設定をしてください

再生　再生のしかた

サーチ　希望するところから再生する（サーチ）

さらに　再生中に切りかえる

画面表示　再生中の情報を見る（画面表示）

初期設定をかえる　初期設定をかえる（セットアップ）

故障かな？　故障かな？と思ったときは

その他　その他

もくじ

必ず守ってください

安全にお使いいただくために

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

絵表示について

■この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

絵表示の意味

 ・注意してください。

 ・破裂に注意してください。

 ・絶対に行わないでください。

 ・絶対に触れないでください。

 ・絶対に濡らさないでください。

 ・必ず指示にしたがい、行ってください。

 ・必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

 ・高温に注意してください。

 ・絶対に分解/修理はしないでください。

 ・絶対に水場では使用しないでください。

 ・絶対に濡れた手で触れないでください。

 ・指をはさまないよう注意してください。

 ・指のケガに注意してください。

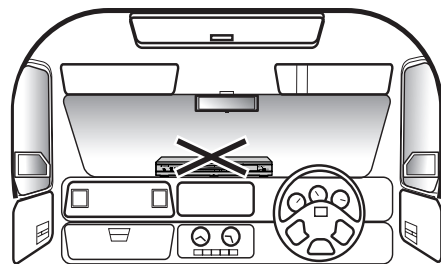
 ・手をはさまれないよう注意してください。

おことわり

• 製品本体やワイヤレスリモコンなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

⚠警告　お車の中ではご使用にならないでください

本機は車載用ではありませんので、お車の中ではご使用にならないでください。また、自動車内に放置しないでください。

車載で使用した場合、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、**発火、発煙事故**の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、**本機の故障の原因になります。**
市販されている電源コンバーターなどや、お車に付いているACコンセントを使って本機を使用しないでください。

必ず守ってください

警　　告

本機や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く

使用禁止　プラグを抜く
■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お客様による修理は危険ですからお買求めの販売店に修理をご依頼ください。

本機の開口部(通風孔/ディスクトレイなど)から内部に異物をいれない

禁止
■ 金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりすると火災・感電の原因になります。
■ 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機の上に水などの入った容器を置かない(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)

禁止
■ こぼれて本機の内部に入った場合、火災・感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込み、抜き差しが弱くなったものは使用しない

禁止
■ 不完全な差し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因になります。
■ 時々点検をしてください。

電源プラグのほこりなどはとる

ほこりをとる
■ 絶縁不良となり火災・感電の原因となります。
■ ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。

雷が鳴りだしたら電源プラグにふれない

接触禁止
■ 落雷すると誘導電雷により感電することがあります。

本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

使用禁止
水濡れ禁止
プラグを抜く
■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買求めの販売店にご連絡ください。
■ 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

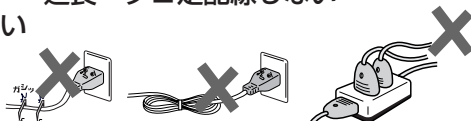
本機を水でぬらさない 水滴のかかる場所に置かない

水濡れ禁止
水場での使用禁止
■ 海岸・水区や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
■ 風呂場では使用しないでください。
■ 内部に水が入ると火災・感電・故障につながります。

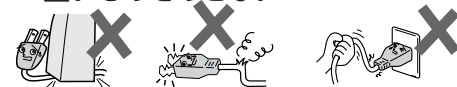
本機を指定(表示)された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

交流100V
■ 指定(表示)以外で使用すると火災・感電・故障の原因になります。
■ 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

電源コードを正しく使用する

- 束ねない　・延長・タコ足配線しない
- 固定しない

禁止
■ 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因になります。
■ タコ足配線すると発熱し火災・故障の原因になります。

電源コードを傷つけない

- 破損させない　・加熱しない　・引っぱらない
- 加工しない　・切断しない　・ねじらない
- 曲げない　・重いものをのせない

禁止
■ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

必ず守ってください

警　　告

本機が破損した場合電源プラグをコンセントから抜く

使用禁止
プラグを抜く
■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買求めの販売店にご連絡ください。

電源プラグやコードが傷んでいる場合(刃の曲がり、プラグカバーの傷み、芯線の露出、断線など)は電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま使うと火災・感電の原因になります。お買求めの販売店にご連絡ください。

電源プラグやコードは乳幼児に触れさせない

注意
■ 電源プラグやコードは小さなお子様の手の届くところに放置しないようご注意ください。
■ 感電の原因となることがあります。

本機を改造または分解をしない

改造・分解禁止
■ 裏ぶた、キャビネット、カバーは外さないでください。感電の原因になります。
■ 内部の点検・調整・修理は、お買求めの販売店にご依頼ください。

電源コードを動かすと電源が入ったり切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない

■ コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因になります。

電源プラグやコードを温度や湿度の高い場所(こたつの中やサウナなど)で使用しない

禁止

■ 感電や火災の原因になります。

本機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

■ 落ちたり倒れたりしてけがの原因となるため注意してください。

禁止
本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない

■ 故障の原因となることがあります。

禁止
DVDプレーヤーのピックアップから出るレーザー光線を直接見たり体に浴びない

禁止
■ 失明や火傷をするおそれがあります。

本機は国際規格 IEC 825 に準ずるクラス1レーザー製品です。

注　　意

電源コードを熱器具に近付けない

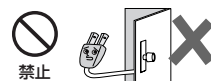
高温注意
■ コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを引っ張らない

禁止
■ 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜く
■ 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードを引き回さない

■ 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり水や液体をかけない

濡れ手禁止
水濡れ禁止
禁止
■ 水は電気を通しますので感電の恐れがあります。
■ 必ずかわいた手で持ってください。

ガラスドア付ラックに入れたときは、ガラスドアを閉めたままワイヤレスリモコンの開/閉ボタンを押さない

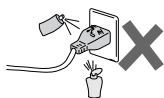
■ 故障の原因になることがあります。

禁止

必ず守ってください

注　　意

電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない

禁止

■ 発煙や発火の原因となります。

次のような場合、電源プラグをコンセントから抜いておく

• 長時間外出するとき
• 旅行をするとき

プラグを抜く

■ 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本機を移動させる場合、電源プラグをコンセントから抜く

■ そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。
■ ディスクは取り出しておいてください。

指や手をはさまれないように注意

注意

注意

注意

■ 小さなお子様がディスクトレイに手を入れないようご注意ください。
■ けがの原因となることがあります。

本機の上に重いものを置かない、乗らない

禁止

■ バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
■ 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

乾電池の取扱いに注意

• ショートさせない　• 分解・加熱をしない
• 火の中に投入しない

破裂注意

■ 破裂したりする危険があります。

指定されていない電池は使用しない

• 新しいものと古いものを混ぜて使わない
• 種類の異なるものを混ぜて使わない

禁止

■ 指定以外のものを使用すると破裂・液もれにより火災・けがの原因となることがあります。

乾電池は正しく挿入する

• プラス(+)とマイナス(–)の向きを正しく入れる

正しく入れる

■ 誤って挿入すると破裂・液もれによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

本機を次のような場所に置かない

• 湿気やほこりの多い場所　• 油煙や湯気が当たる場所　• 熱器具の近く　• テレビの近く
• 直射日光の当たる場所
• 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
• 閉めきった自動車内など高温になるところ
• アンプなど熱を発生するオーディオ機器の近く

設置禁止

■ 発熱による変形や火災・感電・故障の原因になります。

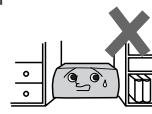
1年に一度くらいは本機内部の掃除を依頼する

掃除

■ 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
■ 内部の掃除やその費用については、お買い求めの販売店にご相談ください。

本機の通風孔をふさがない

• 風通しの悪い狭い場所に置かない
• じゅうたんや布団の上に置かない
• テーブルクロスなどをかけない

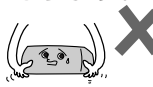
禁止

■ 内部に熱がこもり火災の原因になります。

海水や塩害に注意

■ 海辺にお住まいのかたは窓からの海水や塩害に注意してください。

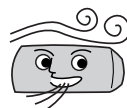
ディスク再生中は本機を絶対に動かさない

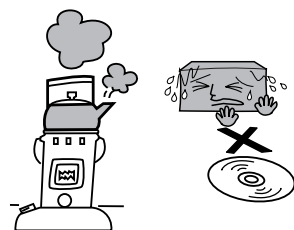
■ 再生中はディスクが高速回転していますので、本機を動かすと、中のディスクを傷つけたり、破損するおそれがあります。

禁止

お使いになる前に

結露（つゆつき）について

■ **結露が発生した場合はディスクを本機に挿入しないでください。（本機を傷めてしまいます。）**
結露が発生しているときに、ディスクを本機に挿入された場合、ディスクの信号が読み取れず、本機が正常に動作しないことがあります。

■ **本機はよく乾燥した状態でお使いください。**
結露が発生した場合、電源プラグをコンセントへ差し込み、電源ボタンを押し電源を入れたまま**乾燥するまで**放置した上で本機をご使用ください。

■ **結露とは…**
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを「**結露**」(またはつゆつき)と呼びます。本機に結露が発生した場合は、本機内部のピックアップレンズやディスクに水滴が付きます。乾燥させないかぎり、本機はご使用になれません。

■ **次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。**
- **本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき**
- **急に部屋を暖房したとき**
- **エアコンなどの冷風が直接当たるところ**
- **湿気の多いところ**

ディスクの取り扱い

■ 再生面(虹色に光っている面)に触れないようにディスクの端を持ってください。

■ 紙やシール、ラベルなどを貼ったり、傷をつけたりしないでください。またシールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わないでください。

■ 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。(車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。)

■ 使用後は、**所定のケースに入れて、保管してください。**ケースにいれずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。

■ 指紋やホコリによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。

■ お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってから拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

■ ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

■ 次のロゴマークが付いたディスクをご使用ください。詳しくは[➡ 11ページ]をご覧ください。

レンズクリーナーについて

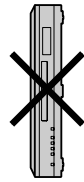
■ 市販のレンズクリーナーは使用しないでください。故障するおそれがあります。

お使いになる前に

本機の置き場所や取り扱いについて

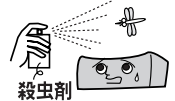
■ 本機の上に、テレビなど重いものを置かないでください。画面にノイズが出たりキャビネットが変形するなど故障の原因となります。
■ 不安定な場所や振動の多い場所、ほこりの多い場所には置かないでください。故障や事故の原因となります。
■ 使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。
■ 長期間ご使用にならないときは、ディスクを取り出し電源を切ってください。

取り扱いは…
■ 国外では使えません。
本機は日本国内用に設計されています。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This DVD player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

■ 本機を移動するときは、ディスクを取り出し、電源を切ってください。
■ 本機をタテ置きではご使用にならないでください。

お手入れについて

キャビネットは…
■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。

■ シンナーやベンジン、アルコールなどは使用しないでください。
傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
■ キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。

■ 市販のレンズクリーナーは故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。

リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制にしたがって処分してください。

ご使用になる前に、必ずお読みください

本体またはワイヤレスリモコンの電源ボタンを押してから電源が入るまで少し時間がかかります。表示部に**P-ON**が点灯するまで、そのまましばらくお待ちください。

次の場合は画像が乱れたり、再生が停止したり、再生が始まらない事がありますのでご注意ください。

1. **ディスクが指紋などで汚れている。**
ディスクを清掃してください。[➥ 8ページ]
2. **ディスクにキズが付いている。**
3. **本機で再生できないディスクが入っている。**[➥ 11～12ページ]

本機の動作について

誤動作や故障などにより、本機が正しく動作しないことがあります。これらによる付随的損害の補償については、ご容赦ください。
■本機は一般家庭用として作られていますので、業務用としてのご使用はしないでください。

お使いになる前に

著作権について

- **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。**
- **ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画面は乱れます。**
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- DTS、DTSデジタルサラウンドは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の登録商標です。
- FUJICOLOR CD COMPATIBLE は富士写真フィルム株式会社の登録商標です。

本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

- **本機のプログレッシブ出力 (525P/480P)は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては本機プログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪い影響が生じる可能性があります。**
  このような場合は、本体の“再生”ボタンを5秒以上押し、本体表示部の“P.SCAN”をオフにしてご使用ください。

この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記の用語が記されています。それぞれの意味は次の通りです。

DVD DVDビデオディスクで楽しめる機能を表します。（本文ではDVDと表現します。）

CD 音楽用CDで楽しめる機能を表します。

MP3 MP3が記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。

WMA WMA（Windows Media Audio）が記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。

JPEG フジカラーCDなどのJPEGが記録されたCD-R/RWで楽しめる機能を表します。

操作上、気を付けていただきたい情報を表します。

用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をワイヤレスリモコン主体で行なっています。

お使いになる前に

再生できるディスク

本機では、下表のディスクを再生できます。

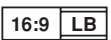
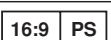
【DVDビデオディスク】

本機は、NTSC方式に適合しています。PALやSECAMなどのほかの方式で、記録されたディスクは再生できません。また、ディスクには下記の様なリージョン番号が表示されます。

ディスクの種類	ディスクの内容	ディスク盤大きさ
DVDビデオディスク リージョン番号 2 ALL 上記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク	音　声＋映像(動画)	12cm/8cm盤
DVD-R 記録状態によっては再生できないディスクもあります	音　声＋映像(動画)	12cm/8cm盤
音楽用CD**	音　声	12cm/8cm盤
CD-R/CD-RW* 音楽CDフォーマット、JPEG、WMA*** MP3ファイル形式で記録されたディスク	音　声(MP3、WMA) 静止画(JPEG)	12cm/8cm盤
フジカラーCD FUJICOLOR CD COMPATIBLE	デジタル画像	12cm盤

※ファイナライズしていないディスクは再生できません。

※※CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生の状態を保証できません。
特殊ディスク再生時のみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。
CD規格外ディスクを再生した場合、色々な不具合が発生することがあります。

※※※ Plays Windows Media™ Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

・本機はマルチ・ビットレート(1つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式)の再生には対応していません。
・ディスクレーベル面に上記ロゴマークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また再生できた場合であっても、画質・音質の保証は致しかねます。

"WMA" (Windows Media Audio)は、米国マイクロソフト社の開発した新しいオーディオコーデックです。

ディスク表示について

DVDビデオソフトに記載されている表示をご確認のうえお楽しみください。

表示		機能説明
・リージョン番号（再生可能地域番号）を表しています。	2 ALL	・本機は、「リージョン番号」が「ALL」または「2」の含まれるDVDビデオディスクの再生が可能です。
・DVDビデオディスクに記録されている画面サイズを表しています。		・本機を接続するテレビの種類（ワイドテレビや4：3のテレビ）に応じた画面サイズが選べます。
	4:3	・4：3の画面サイズで記録されています。
	16:9 LB	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは上下に黒いバーつき（レターボックス）サイズ画像を楽しめるように記録されています。
	16:9 PS	・ワイドテレビではワイド画像を、4:3のテレビでは左右をカットした4:3の画像を楽しめるように記録されています。
・字幕の種類を表しています。 例：2　1：日本語 字幕 2：英語 字幕		・ワイヤレスリモコンの字幕ボタンまたは、ディスクメニュー画面でお好みの字幕が選べます。 ・ディスクによっては字幕ボタンで字幕が切り換わらない場合があります。
・DVDビデオディスクに記録されているアングル数（前方からの撮影画像や後方からの撮影画像）を表しています。 例：2		・ワイヤレスリモコンのアングルボタンまたは、ディスクメニュー画面でお好みのアングルが選べます。
・音声トラック数や音声記録方式を表しています。 例：5 音声1：オリジナル<英語>（5.1chサラウンド） 音声2：日本語（ドルビーサラウンド） 音声3：ドルビーデジタル（ステレオ） 音声4：リニアPCM音声 音声5：日本語（5.1chサラウンド/DTS）		・DVDビデオディスクに記録されている音声をワイヤレスリモコンの音声ボタンで切り換えることができます。 ・ディスクによっては音声ボタンで音声が切り換わらない場合があります。

お使いになる前に

ちょっと一言!

下記のディスクは再生できません。

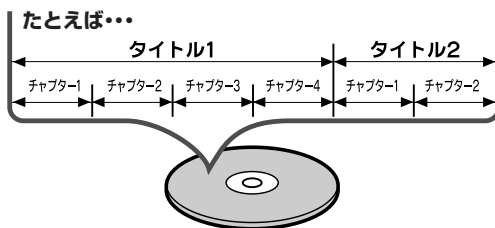
- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVD
- DVD-ROM ● CD-ROM
- DVD-RW (VRモード) ● DVD+R ● DVD+RW ● Video CD
- DVD-RAM ● DVD-Audio
- CD-R/RW(音楽用データ以外のもの) ● CD-I
- SACD（ハイブリットディスクで通常のオーディオCD層に記録された音は再生することができます。スーパーオーディオCD層に記録された音は再生することができません。）
- フォトCD　など
- 特殊な形状のディスク(ハート形など)（故障の原因となります。）

■ 8cmアダプター(音楽用CD用)は使わないでください。故障の原因となります。

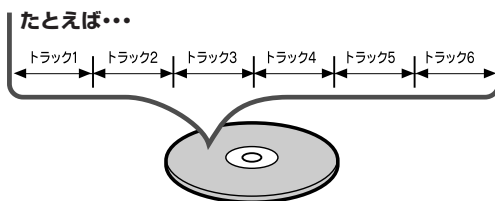
ディスクの構成

DVD

■ DVDビデオディスクは、「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。

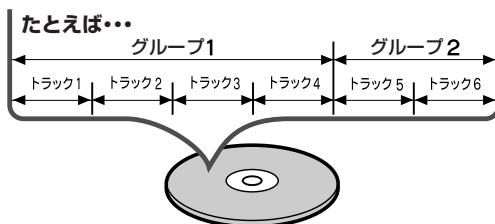
- タイトルとは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとをさします。
- チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。

音楽用CD

■ 音楽用CDは、「トラック」に区切り構成されています。

- トラック（ファイル）とは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。

CD-R/RW(MP3、JPEG、WMAファイル形式)

COMPACT disc Recordable　COMPACT disc ReWritable

■ MP3またはWMA、JPEGのデータは「グループ（フォルダ）」と「トラック（ファイル）」に区切り構成されています。MP3またはWMA、JPEGについての詳細は、24ページをご覧ください。

- トラック（ファイル）とは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。
- グループ（フォルダ）とは、いくつかの「トラック（ファイル）」をまとめたものをさします。

お使いになる前に

おもな特長

ドルビーデジタルサラウンド [➡ 21ページ]
- ドルビー研究所が開発した音声圧縮方式で5.1チャンネルサラウンドによる音の移動感や立体感を楽しむことができます。

DTS(デジタルシアターシステム) [➡ 21ページ]
- デジタルシアターシステム社が開発した、原音に限りなく忠実な5.1チャンネルサラウンドシステムを楽しむことができます。

早送り、早戻し、一時停止(静止)、コマ送り再生、スロー再生 [➡ 28、30～32ページ]
- 早送り再生、早戻し再生、静止画、コマ送り再生、スロー再生などの再生ができます。

早見早聞/遅見遅聞再生 [➡ 31ページ]
- 早送り/遅送り再生時でも聞き取りやすい音声を出力する機能です。

ランダム再生(音楽用CD、MP3、WMA、JPEG) [➡ 37ページ]
- 本機は、トラック（ファイル）の順番をランダムに変えて再生することができます。

プログラム再生(音楽用CD、MP3、WMA、JPEG) [➡ 35～36ページ]
- 本機は、トラック（ファイル）の順番をプログラムして、お好きな順番で再生することができます。

デュアル再生（MP3、JPEG） [➡ 25～26ページ]
- JPEGファイルとMP3ファイルを同時に再生することができます。

フォルダ再生（MP3、WMA、JPEG） [➡ 39ページ]
- ディスクをグループ（フォルダ）ごとに再生し、JPEGファイルと、MP3ファイルを同時に再生することができます。

DVDメニュー言語切りかえ [➡ 55～57ページ]
- DVDに含まれているメニューが、多言語対応の場合、メニューに表示する言語が選択できます。

自動電源オフ機能
- 静止、停止状態で30分間入力がないと、電源が自動的に切れます。

希望する言語で字幕を表示 [➡ 47、55～57ページ]
- 希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

カメラアングルの選択 [➡ 48ページ]
- 異なるアングルからの映像が、ディスクに記録されている場合には、希望するカメラアングルを選ぶことができます。

音声言語とサウンドモードの選択 [➡ 47、60～61ページ]
- 複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

パレンタル設定 [➡ 62～63ページ]
- パレンタルレベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を、制限することができます。

ディスクの自動判別
- DVD、音楽用CD、MP3、JPEGを自動的に判別して再生します。

MP3/JPEG/WMA再生 [➡ 24ページ]
- CD-RやCD-RWに記録されたMP3/JPEG/WMAファイルを再生することができます。

バーチャルサラウンド [➡ 50ページ]
- バーチャル(疑似)サラウンドを楽しむことができます。

プログレッシブ [➡ 19ページ]
- 接続したテレビがプログレッシブ映像に対応しているとき、従来方式のインターレーススキャン方式より、ちらつきの少ない高密度の画像を楽しむことができます。

ディスクナビゲーション [➡ 42ページ]
- ディスクに記録されているそれぞれのチャプターを表示することができます。

画面表示 [➡ 52ページ]
- 各時点で行なっている操作情報を、テレビ画面上に表示します。また、ワイヤレスリモコンを利用してテレビ画面上で、(プログラム再生などの)その時点に有効になっている機能を確認することができます。

サーチ [➡ 40～45ページ]
- チャプターサーチ：
  ユーザーが指定したチャプターでサーチすることができます。
- タイトルサーチ：
  ユーザーが指定したタイトルでサーチすることができます。
- トラックサーチ：
  ユーザーが指定したトラック（ファイル）でサーチすることができます。
- タイムサーチ：
  ユーザーが指定した時間でサーチすることができます。

リピート [➡ 33～34ページ]
- チャプター、タイトル、トラック（ファイル）：
  再生中のディスクのチャプター、タイトル、トラック（ファイル）を繰り返して再生することができます。
- オール（音楽用CD、CD-R/-RW（MP3、WMA、JPEG））：
  再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。
- A-B：
  ユーザーが指定したAからBまでの部分を繰り返して再生することができます。
- グループ（フォルダ）：
  MP3またはWMA、JPEGで再生中のフォルダを繰り返して再生することができます。

ズーム [➡ 49ページ]
- 2倍または4倍に拡大した画面を表示させることができます。

つづき再生（リジューム機能）[➡ 29ページ]
- 再生をストップした位置から再生することができます。

黒レベル [➡ 50ページ]
- 暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくできます。

ビットレート表示 [➡ 52ページ]
- ディスクの画像情報量を示します。

DRC [➡ 60ページ]
- 音量範囲をコントロールします。

マーカー [➡ 51ページ]
- ユーザーが指定した位置を呼び出すことができます。

ダウンサンプリング [➡ 54、61ページ]
- デジタル端子接続時、96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに設定することができます。

お使いになる前に

各部のなまえ

（ ）内の番号は、本文で説明しているおもなページです。
操作ボタンの機能については、15ページをご覧ください。

前　面

再生ボタン（23ページ）
停止ボタン（23ページ）
トレイ（22ページ）
ワイヤレスリモコン受光部
トレイ開/閉ボタン（22ページ）
表示部（17ページ）
サーチ・スキップボタン（28、30ページ）
電源ボタン（22ページ）

後　面

音声出力（右/左）端子（19ページ）
コンポーネント映像出力端子（19ページ）
電源プラグ
S映像出力端子（19ページ）
D1/D2映像出力端子（19ページ）
映像出力端子（19ページ）
同軸デジタル音声出力端子（20ページ）
光デジタル音声出力端子（20ページ）

ワイヤレスリモコン

ワイヤレスリモコン発光部
サラウンドボタン（50ページ）
電源ボタン（22ページ）
A-Bリピートボタン（34ページ）
リピートボタン（33ページ）
再生モードボタン（35、36ページ）
ズームボタン（49ページ）
アングルボタン（48ページ）
取消しボタン（34、35ページ）
メニューボタン（40ページ）
字幕ボタン（47ページ）
リターンボタン（51ページ）
スキップボタン（30ページ）
停止ボタン（23ページ）
サーチボタン（28ページ）
一時停止/コマ送りボタン（30ページ）
テレビ電源ボタン（16ページ）
テレビ入力切換ボタン（16ページ）
サーチモードボタン（43ページ）
開/閉ボタン（22ページ）
数字ボタン（40, 43ページ）
画面表示ボタン（52ページ）
トップメニューボタン（41ページ）
音声ボタン（46ページ）
カーソルボタン（40ページ）
決定ボタン（40ページ）
セットアップボタン（55ページ）
ディスクナビゲーションボタン（42ページ）
再生ボタン（23ページ）
テレビ音量ボタン（16ページ）
テレビチャンネルボタン（16ページ）

お使いになる前に

各部の名称と機能説明

■ 本体前部

	各部の名称	機能説明
さ	再生ボタン	• ディスクの再生 • プログレッシブスキャンモードの切換え
	サーチ・スキップボタン	チャプター（トラック（ファイル））の頭出しと早送り/早戻し
た	停止ボタン	ディスクの再生を止める
	電源ボタン	電源を「入」「切」にする
	トレイ	ディスクをセット
	トレイ開/閉ボタン	トレイの出し入れ
は	表示部	17ページをご覧ください

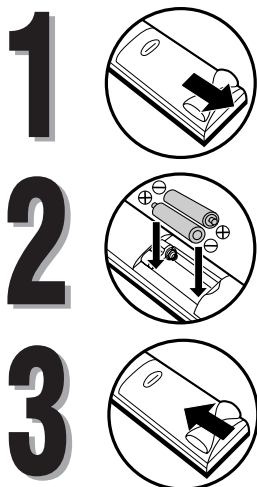
■ 本体後部

	各部の名称	機能説明
英字	S映像出力端子	S端子付きテレビとの接続
あ	映像出力（D1/D2）端子	D端子付きテレビとの接続
	映像出力端子	映像入力端子付きテレビとの接続
	音声出力（右/左）端子	アナログオーディオやテレビとの接続
か	コンポーネント出力端子	Y, CR/PR, CB/PB 端子付きテレビとの接続
た	電源プラグ	AC100Vのコンセントに差し込む
	同軸デジタル音声出力端子	同軸デジタル端子付きアンプとの接続
は	光デジタル音声出力端子	光デジタル端子付きアンプとの接続

■ ワイヤレスリモコン操作ボタン

	各部の名称	機能説明
英字	A-Bリピートボタン	A点からB点を繰り返し再生
あ	アングルボタン	アングル(角度)の切り換え
	一時停止/コマ送りボタン	再生の一時停止/コマ送りをする
	音声ボタン	音声の言語を設定する・音質モードの設定
か	カーソルボタン (4方向)	初期設定やプログラム再生、カーソルの移動や項目の切り換え
	開/閉ボタン	トレイの出し入れ
	画面表示ボタン	DVDのディスクメニュー画面を表示する
	決定ボタン	選択した項目を確定
	◀◀ ▶▶(サーチ)ボタン	早送り/早戻し再生、スロー再生
さ	サーチモードボタン	お好みの位置の検索
	再生ボタン	ディスクの再生
	再生モードボタン	• プログラム/ランダム再生画面に切り換える • 画面の明るさ調整（DVD） • サラウンド設定
	サラウンドボタン	サラウンドの切り換え
	字幕ボタン	字幕の言語を設定する
	ズームボタン	再生画像の一部を拡大
	数字ボタン	各設定、選択などに使う
	スキップボタン	チャプター（トラック（ファイル））の頭出し
	セットアップボタン	設定を変更するときに使う
た	停止ボタン	ディスクの再生を止める
	テレビ音量ボタン	テレビの音量を換える
	テレビチャンネルボタン	テレビのチャンネルを換える
	テレビ電源ボタン	テレビの電源を「入」「切」にする
	テレビ入力切換ボタン	テレビ/DVDの切り換え
	電源ボタン	電源を「入」「切」にする
	ディスクナビゲーションボタン	ディスクナビゲーション画面を表示する
	トップメニューボタン	DVDディスクの最上層のメニュー画面を表示する
	取消しボタン	設定した内容を元に戻す
ま	メニューボタン	ディスクの情報を画面に表示する
ら	リターンボタン	１つ前の設定画面に戻る
	リピートボタン	タイトル/チャプター、トラック（ファイル）の繰り返し再生

お使いになる前に

ワイヤレスリモコン乾電池のいれかた

1 ワイヤレスリモコン裏側のフタをはずす

2 乾電池（単3形）を入れる
- (＋)(－)を確かめる
- (－)側を先に入れる

3 フタを付ける

「アルカリ乾電池ご使用の注意」
アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱しやけどする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれていないものをご使用ください。

ワイヤレスリモコンの操作方法

センサーにむけて操作してください。

受信許容範囲
距離
　本体正面より7メートル以内
角度
　本体正面より
　左右30度以内：5m以内
　上15度以内　：5m以内
　下30度以内　：3m以内

ちょっと一言!
- ワイヤレスリモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい単3形乾電池に交換してください。(※付属の単3形乾電池は動作確認用です。)
- 長期間使用しないときは、ワイヤレスリモコンから乾電池を取出してください。
- 本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。誤動作する場合があります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。
- ワイヤレスリモコンのボタン名表示パネルには透明保護シートが貼ってあります。一部がはがれたり、気泡が入っていても不良ではありません。文字が見にくい場合は透明保護シートをはがしてお使いください。
- ワイヤレスリモコンは、本機付属の（DVL-RM800）を使用してください。
- 蛍光灯などの近くに設置すると、ワイヤレスリモコンの操作が受けづらくなることがあります。このようなときは、本機を蛍光灯などから離した場所に設置してください。

ワイヤレスリモコンについて

ワイヤレスリモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のワイヤレスリモコンでテレビの電源を入れたり、音量を調節したりできます。(テレビの操作ができるボタンは［テレビ電源］、［入力切換］、［音量］、［チャンネル］のみです。)

設定のしかた

ワイヤレスリモコンをテレビに向け、電源(⏻/I)(テレビ電源)ボタンを押しながら右の表にしたがってお手持ちのテレビのメーカーに対応するボタンを押します。
テレビの電源が入／切すると、お手持ちのテレビに対応した設定の完了です。

※初期設定は［日立］に設定されています。

メーカー	ボタン
日立	1
松下	2
ビクター	3
ソニー	4
東芝	5
三菱	6
三洋	7
三洋	8

メーカー	ボタン
シャープ	9
富士通ゼネラル	取消し
シャープ	0
NEC	+10
日立 /松下	字幕
松下	音声
パイオニア	画面表示

ちょっと一言!
- 複数のメーカーボタンがある場合、実際にテレビが動作するボタンを選んでください。
- テレビのメーカーや機種によっては、使えない操作があります。
- ワイヤレスリモコンの乾電池を交換したときは、再設定が必要な場合があります。

お使いになる前に

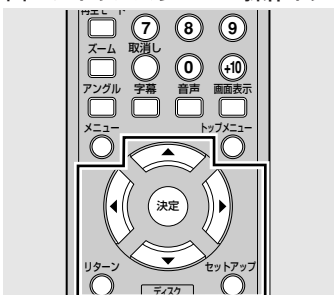
本機の機能操作について

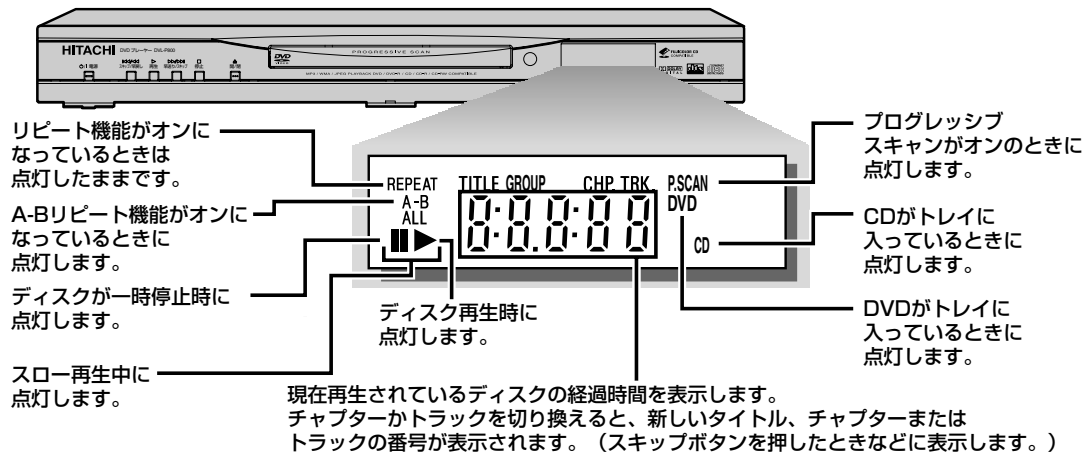
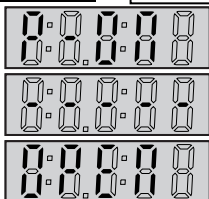
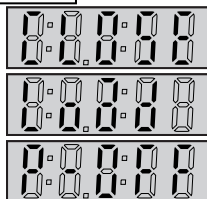
図1 メニュー画面（テレビ画面）

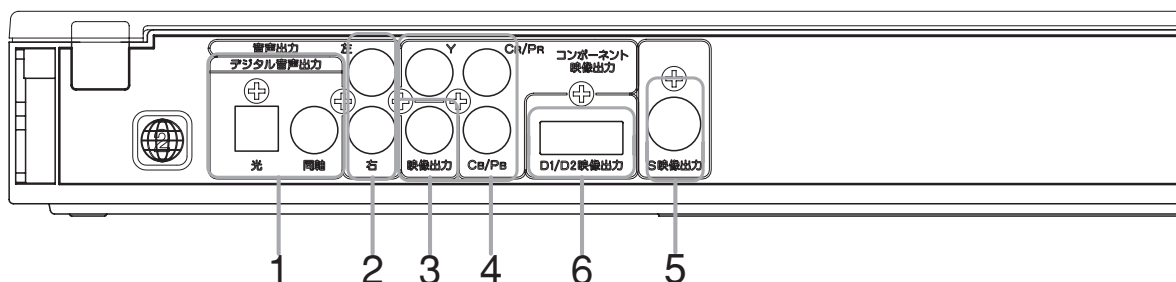
図2 ワイヤレスリモコン 操作ボタン

本機はセットアップメニュー(図1)等に従い、各種機能を設定する操作になっています。また、この操作はワイヤレスリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※22ページ以降の説明において、ワイヤレスリモコン主体とした説明となります。

各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	ワイヤレスリモコン
・タイトルメニューを呼び出す	トップメニュー	トップメニュー
・セットアップメニューを呼び出す	セットアップ	セットアップ
・選択項目の移動	カーソル	
・選択項目の確定	決定	決定
・キャンセル	リターン	リターン

表示部について

本体前面

カウンター（再生時間）の確認はテレビ画面で行なってください。
詳しくは52～53ページをご覧ください。

正しい設置・設定をしてください

本機後面の端子について

1, デジタル音声出力端子
市販の光デジタルケーブルまたは75Ω同軸コードを使って、デジタル端子付きアンプと接続します。ドルビーデジタルやDTS対応のアンプまたはデコーダーをお使いになる場合もここに接続します。

2, 音声出力端子
付属の音声コード (赤、白) を使って、AV対応テレビまたはワイドテレビの外部入力端子 (音声) と接続します。または、オーディオ機器などのアナログ音声入力端子と接続します。

3, 映像出力端子
付属の映像コード (黄色) を使って、AV対応テレビまたはワイドテレビの外部入力端子 (映像) と接続します。

4, コンポーネント映像出力端子
市販のコンポーネント映像ケーブルを使って、コンポーネント映像入力端子 (CR/PR、CB/PB、Y) のあるAV対応テレビまたはワイドテレビと接続します。S映像コードよりも鮮明な映像を楽しむことができます。

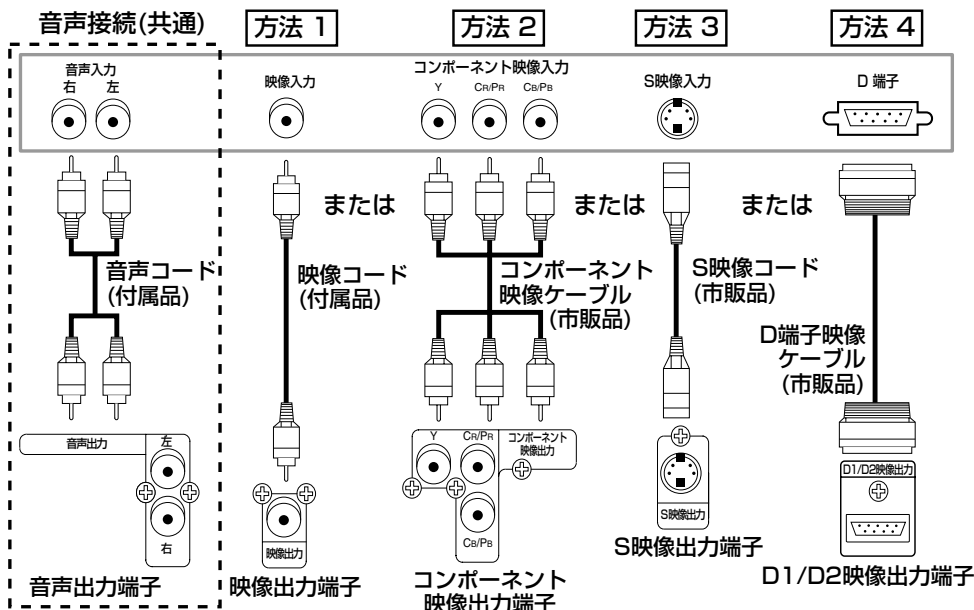
5, S映像出力端子
市販のS映像コードを使って、S映像入力端子のあるAV対応テレビまたはワイドテレビと接続します。映像コードよりも鮮明な映像を楽しむことができます。

6, D1/D2映像出力端子
市販のD端子映像ケーブルを使って、D端子のあるAV対応テレビまたはワイドテレビと接続します。コンポーネント映像入力端子 (D端子) については 19 ページをご覧ください。

テレビとの接続

接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- テレビとの接続のしかたについては、テレビの取扱説明書もよくお読みください。

正しい設置・設定をしてください

- **方法 1:** 本機 ＋ 外部入力端子付きのAVテレビまたはワイドテレビ
- **方法 2:** 本機 ＋ コンポーネント映像入力端子付きのAVテレビまたはワイドテレビ
- **方法 3:** 本機 ＋ S映像入力端子付きのAVテレビまたはワイドテレビ
- **方法 4:** 本機 ＋ D端子付きのAVテレビまたはワイドテレビ

コンポーネント映像入力端子(D端子)とは？

- コンポーネント映像入力端子(D端子)を備えたテレビに接続することで、さらに高品質の画像を楽しむことができます。D1/D2映像の信号に対応した入力端子を持つテレビにつなぐときは、市販のD端子ケーブルを使い本機のD1/D2映像出力端子と接続する映像機器のD映像入力端子をつなぎます。ケーブル1本で、簡単にコンポーネント映像の接続ができます。
  コンポーネント映像入力端子の名称はテレビメーカーごとに異なります。
  詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- プラズマテレビやプロジェクションテレビまたは液晶テレビと接続している場合は、セットアップ設定項目のロゴ設定を“オフ”にしてください。[➡ 58 ～ 59ページ]
  CD再生などで背景画面を表示していると、テレビに背景画面の残像が残ることがあります。

プログレッシブスキャンの設定（工場出荷時は インターレース）

■接続するテレビに合わせて設定してください。テレビがプログレッシブスキャン方式（525p/480p）に対応している場合、テレビをプログレッシブモードに設定し、本機とコンポーネント映像入力端子（D端子）を使って接続します。次に本体の"再生"ボタンを約 5 秒間押し続けます。プログレッシブスキャンが有効になり、本体表示部の"P.SCAN"が点灯します。通常の（プログレッシブスキャン方式に対応していない）テレビをお使いの場合は、プログレッシブスキャンをモードを解除してください。本体表示部の"P.SCAN"が消灯します。

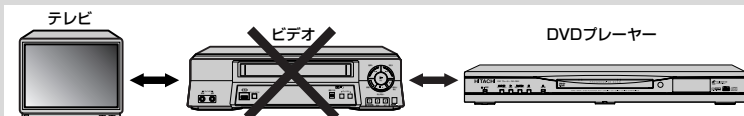
・テレビモニターの映像入力端子がBNCタイプの場合は、市販のアダプターを使用してください。

プログレッシブスキャン方式とは？

■プログレッシブスキャン方式では従来方式のインターレーススキャン方式に対して、よりちらつきの少ない高密度の画像をお楽しみいただけます。

ちょっと一言!

- ワイドテレビ(16:9)に接続した場合は、本機の設定を変更する必要があります。[➡ 58 ～ 59ページ]
- 本機はテレビに直接接続してください。ビデオやビデオ内蔵テレビを間に挟んでテレビに接続したり、録画してテープを再生するとコピープロテクションシステムにより、正常な再生画像にならない場合があります。

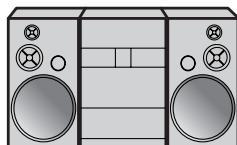
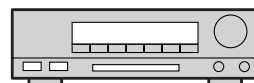
正しく

正しい設置・設定をしてください

オーディオ機器との接続

接続を始める前に…

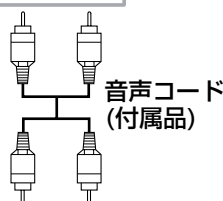
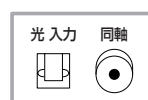
- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「**切**」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

オーディオ機器

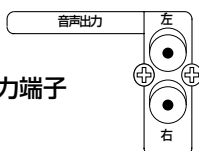
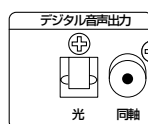
方法 1

方法 2 デジタル端子付きアンプ

オーディオ機器

アナログ音声入力端子　右　左

デジタル音声入力端子　光 入力　同軸

音声コード（付属品）

光デジタルケーブル（市販品）　または　75Ω同軸コード（市販品）

本機後面

音声出力端子　音声出力　左　右

デジタル音声出力端子　デジタル音声出力　光　同軸

- **方法 1:** 本機 ＋ アナログ音声入力端子付きのオーディオ機器
- **方法 2:** 本機 ＋ デジタル音声入力端子付きのアンプ

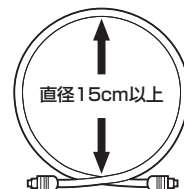
ちょっと一言！

- ドルビーデジタルおよびDTSのサラウンドデコード機能に対応していないアンプをご使用の場合は、[オーディオ設定]の[ドルビーデジタル]を[PCM]に、[DTS]を[オフ]にセットしてください。（工場出荷時はドルビーデジタルは[ビットストリーム]、DTSは[オフ]）正しくない設定でDVDディスクを再生すると、音が歪みスピーカーが壊れることがあります。
[➡ 60 ～ 61ページ]
- ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、MDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

光デジタル音声出力端子について

- 光デジタル音声出力端子は、電気信号を光信号に変換してアンプへと送ります。このような光信号による通信は、外界の電気的影響を受けにくく、またほかの外部装置に悪影響を及ぼす恐れも少なくなります。

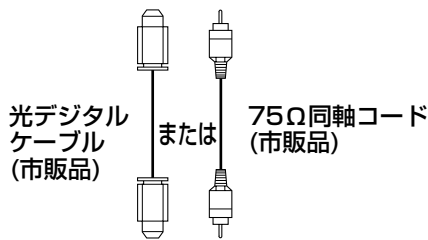
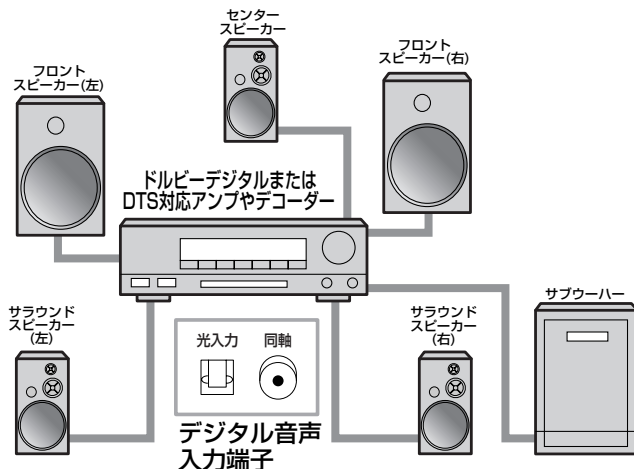
光デジタルケーブルについて

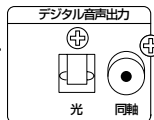
- 光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際には、直径が15cm以上になるように巻いてください。
ケーブルを接続するときには、しっかり奥まで差し込んでください。
長さは3m以下のものを使用してください。
プラグにほこりがある場合には、柔らかい布で拭いてから接続してください。

正しい設置・設定をしてください

ドルビーデジタルまたはDTS対応のアンプやデコーダーとの接続

接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行なってください。
- 接続する機器の電源を必ず「**切**」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ドルビーデジタルサラウンド、またはDTSデジタルサラウンドフォーマットのDVDディスクを再生するときには、ドルビーデジタルやDTS対応のアンプまたはデコーダーに本機を接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンドサウンド音声をお楽しみいただけます。このオーディオ接続には、75Ω同軸コード（市販品）、または光デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

本機後面

デジタル音声
出力端子

ちょっと一言!

- ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続する場合には、[オーディオ設定]の[ドルビーデジタル]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 60～61ページ]
- DTS対応のアンプやデコーダーに接続する場合には、[オーディオ設定]の[DTS]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 60～61ページ]
- ドルビーデジタルおよびDTS対応アンプやデコーダーに接続しない場合には、[オーディオ設定]の[ドルビーデジタル]を[PCM]に、[DTS]を[オフ]にしてください。(工場出荷時はドルビーデジタルは[ビットストリーム]、DTSは[オフ]) 正しくない設定でDVDディスクを再生すると音が歪みスピーカーが壊れることがあります。[➡ 60～61ページ]

再生のしかた

DVD、音楽用CDの再生

DVD　CD

再生を始める

- テレビ、アンプ、その他本機に接続されている機器の電源をすべて入れます。（外部機器側の入力方式を本機に適合するように切り換えたうえで、音声のボリュームが適正かどうか確かめてください。）
- ディスク回転中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 電源プラグを抜くときは、ディスクを取り出し、電源ボタンで電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

1 ⏻/I 電源 を押して電源を入れる

P-ON

2 開/閉 ⏏ を押してディスクトレイを開ける

OPEN

3 再生するディスクをトレイにのせる

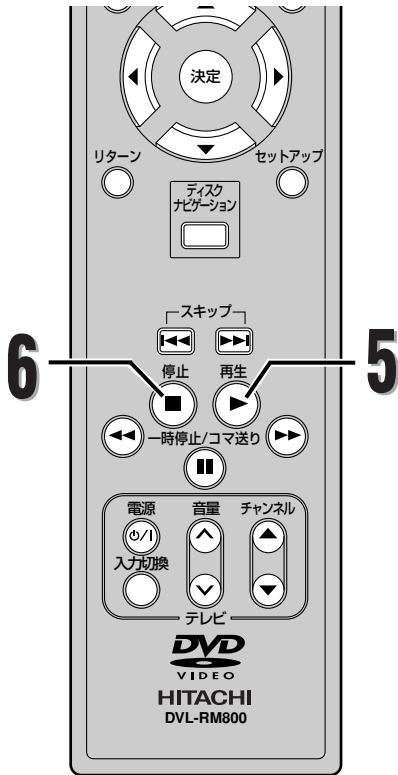
- ラベル面を上にして、ディスクがトレイのくぼみに正しくセットされているか確認してください。

4 開/閉 ⏏ を押してディスクトレイを閉める

CLOSE ➡ LoAd

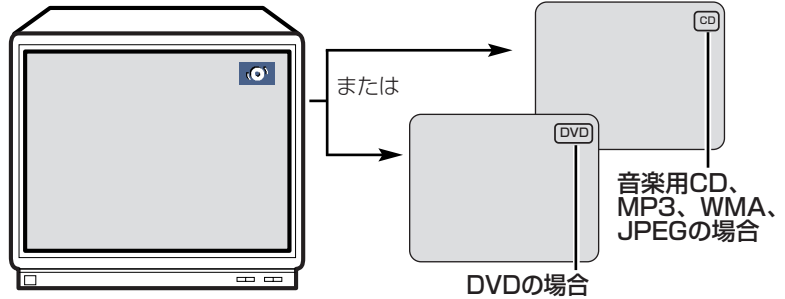
ちょっと一言！

- ディスクが裏表逆になっていると、ディスクに傷をつけたり、誤動作の原因となります。
- 電源「切」の状態でも、開/閉 ⏏ を押すと電源が入り、トレイが開きます。
- 2層ディスクの再生中に映像が一瞬とまることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるためにに起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。
- DVDディスクが入った状態で電源を入れると自動的に再生を始めるディスクがあります。
- MP3, WMA, JPEGの再生に関しては、「MP3/WMA/JPEGディスクの再生」[➥ 24〜27ページ]をご覧ください。

再生のしかた

5 再生 を押す

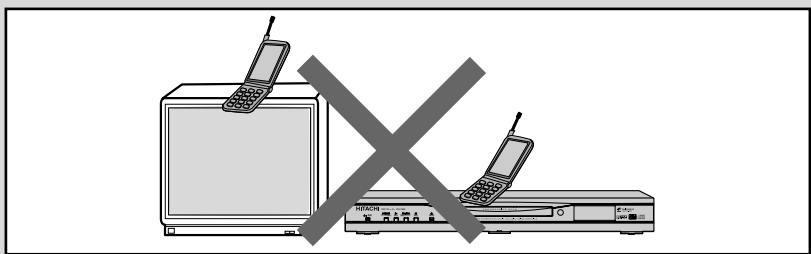
- ディスクの最初のチャプター、またはトラック（ファイル）から再生が始まります。
- メニュー画面が記録されているDVDを再生すると、画面表示されたメニューを使って、再生することができます。[➡ 40~41ページ]の項をご覧ください。
- DVDには自動的に再生するディスクがあります。
- DVDの場合、映像/音声が出るまで約5秒かかります。

6 再生をやめるとき、 停止 を押す

再生

画面に下記の表示が出た場合は、[➡ 69ページ] をご覧ください。

ディスクエラー	リージョンエラー	パレンタルエラー
--ディスクを取り出してください。-- 再生可能なディスクを挿入してください。	--ディスクを取り出してください。-- この地域での再生は禁止されています。	現在のパレンタル設定では再生が制限されています。

ちょっと一言!

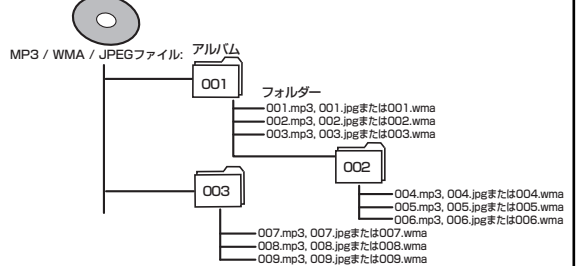
- 本機の動作中にテレビ画面の右上隅に「禁止マーク」が表示されることがあります。これは、禁止されている操作を本機かディスクに対して行なわれていることを警告するためのものです。
- ディスクに汚れや傷があると、画像がゆがんで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合には、ディスクを清掃して電源プラグをいったん抜き取り、プラグを差し込みなおしてから再生を再開してください。
- 再生プログラムが備わっているDVDの場合は、最初のタイトルから再生が始まらない場合があります。
- 携帯電話をご使用になる時はテレビやDVDに近づけないでください。
  音声に異音が入ったり、テレビにノイズが出たりする場合があります。
  異音が出たり、テレビにノイズが出たりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

MP3/WMA/JPEGディスクの再生

MP3、WMA、JPEG形式で記録されたCD-ROMやCD-R、CD-RWディスクを再生することができます。

MP3/WMA/JPEGディスクについて

- 「.mp3(MP3)」という拡張子の付いたファイルを「MP3ファイル」と呼びます。
- 「.wma(WMA)」という拡張子が付いたファイルを「WMAファイル」と呼びます。
- 「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」という拡張子の付いたファイルを「JPEGファイル」と呼びます。
  （Exif*規格に準拠した画像ファイルを再生することができます。）
  * JEIDA(日本電子工業振興協会<Japanese Electronic Industry Development Association>)が制定したファイル形式です。

MP3 / WMA / JPEG
MP3 / WMA / JPEGファイル: アルバム
001
フォルダー
001.mp3, 001.jpgまたは001.wma
002.mp3, 002.jpgまたは002.wma
003.mp3, 003.jpgまたは003.wma
002
004.mp3, 004.jpgまたは004.wma
005.mp3, 005.jpgまたは005.wma
006.mp3, 006.jpgまたは006.wma
003
007.mp3, 007.jpgまたは007.wma
008.mp3, 008.jpgまたは008.wma
009.mp3, 009.jpgまたは009.wma

- 拡張子が「.mp3(MP3)」、「.jpg(JPG)」、「.jpeg(JPEG)」と「.wma(WMA)」以外のファイルはMP3、JPEGまたはWMAメニューのリストには表示されません。
- 拡張子「.mp3(MP3)」、「.jpg(JPG)」、「.jpeg(JPEG)」または「.wma(WMA)」が付いたファイルでも、MP3、JPEG、WMA形式で記録されていないものを再生するとノイズが出ることがあります。

対応しているCD-R/RWディスクのフォーマットは、ISO9660 Level1/Level2 Joliet方式です。

再生可能なMP3ファイル、WMAファイルは次の仕様です。(ビットレートが低くなると音質が悪くなる場合があります。)

サンプリング周波数(kHz) / ビットレート(kbps)	MP3		WMA							
	48	44.1	48	チャンネル数	44.1	チャンネル数	32	チャンネル数	22.05	チャンネル数
32	○	○			○	1			○	2
40	○	○								
48	○	○			○	2	○	2		
56	○	○								
64	○	○	○	2	○	2	○	2		
80	○	○	○	2	○	2				
96	○	○	○	2	○	2				
112	○	○	○	2						
128	○	○	○	2	○	2				
160	○	○	○	2	○	2				
192	○	○	○	2	○	2				
224	○	○								
256	○	○			○	2				
320	○	○			○	2				
可変ビットレート	非対応		32-320kbpsに対応							
タイプ	MPEG1オーディオレイヤー3		Windows Media Audio Ver.9.0							
その他	著作権保護により再生が禁止されているファイルは再生できません。									
	ビットレートが低くなると音質が悪くなる場合があります。									
	デジタル接続をした時にデジタル機器での録音は禁止されます。									

再生可能なJPEGファイルは次の仕様です。

画像サイズ	上限：6300X5100画素
	下限：32X32画素
その他	画面に入りきらないJPEG画像は、縮小して表示します
	プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません
	推奨の画像サイズは640X480画素で、それ以上のサイズの場合は出画に時間がかかります。

再生のしかた

1 MP3/WMA/JPEGトラック（ファイル）が記録されたディスクを挿入し、メニュー◯を押す

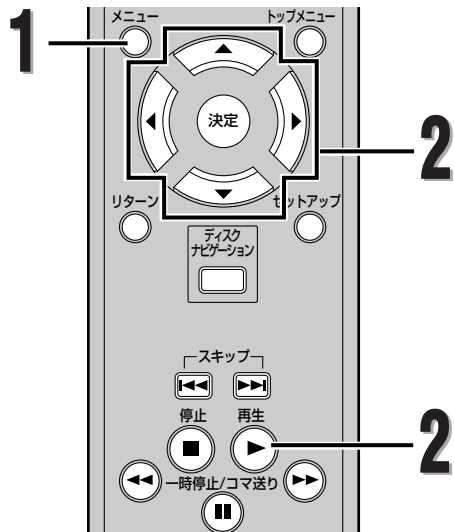
- MP3/WMA/JPEGメニュー画面が表示されます。
- グループ（フォルダ）名の先頭には“▣”が表示されます。
- MP3ファイル名の先頭には“♫”が表示されます。
- WMAファイル名の先頭には“♪”が表示されます。
- JPEGファイル名の先頭には“☺”が表示されます。
- 画面内に全て表示されない場合は、次のページを示す“▼”が表示されます。前のページがある場合には“▲”が表示されます。“▼”の右側には現在のページ番号と総ページ番号が表示されます。
- グループ（フォルダ）255、トラック（ファイル）999まで認識できます。（MP3/WMA/JPEGファイルが混在して記録されている場合も、あわせてグループ（フォルダ）255、トラック（ファイル）999まで認識できます。）
- グループ（フォルダ）内にMP3/WMA/JPEGファイルがない場合は、そのグループ（フォルダ）を表示しません。

2

⌃/⌄で再生したいトラック（ファイル）を選択し、再生▶または決定を押す

● **MP3 / WMAファイルを選択した場合**
選択したトラック（ファイル）から順に再生が始まります。

● **JPEGファイルを選択した場合**
選択したトラック（ファイル）から順に画像が再生されます。

- 1トラック（ファイル）を5秒間再生後、次のトラック（ファイル）を再生します。
- 画像表示中に▷を押すたびに画像が時計回りに90度回転し、◁を押すと時計と逆回りに90度回転します。

グループ(フォルダ)を選択したいときは…

- ⌃/⌄で再生したいグループ（フォルダ）を選択し、▷または再生▶か決定を押して、トラック（ファイル）を選択してください。
- 再生▶または決定を押すと再生が始まります。
- 9階層以降の階層は再生できません。

ちょっと一言！
- グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他認識されない文字はアスタリスクで表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては表示できない（アスタリスクが表示される）場合があります。
- 記録したときの条件によっては、再生できないグループ（フォルダ）やトラック（ファイル）が表示されることがあります。
- 固定ビットレート32kbps以上で記録されたMP3ファイルを推奨します。
- マルチセッションで記録したディスクも再生できます。
- 記録方式について詳しくはCD-R/CD-RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- JPEGファイルのサイズによっては、再生に時間がかかる場合があります。
- JPEG再生中は操作ボタンが効きにくくなる場合があります。

再生のしかた

3 「初期設定」で[デュアル再生]を[オン]にしている場合

- MP3ファイルが選択された場合、選択されたトラックから再生が始まります。再生が終わると、次のトラックのMP3ファイルが再生されます。
- JPEGファイルが選択された場合、選択されたトラックから再生が始まります。再生が終わると、次のトラックのJPEGファイルが再生されます。

■ 画像と音楽を同時に楽しむには…

- 再生中に、メニューを押すと、ファイルリストが表示されます。
- MP3ファイルを再生中に、ファイルリストからJPEGファイルを選択すると、同時再生が始まります。
- JPEGファイルを再生中に、ファイルリストからMP3ファイルを選択すると、同時再生が始まります。

■ 「初期設定」で[デュアル再生]を[オフ]にしている場合

- MP3ファイルとJPEGファイルは同時に再生されません。この場合、記録されたトラック順に再生されます。

4 再生をやめるときは停止を押す

ちょっと一言!

- 「初期設定」のデュアル再生設定項目については、64～65ページを参照してください。
- デュアル再生設定項目が[オン]の場合、MP3ファイルとJPEGファイルの両方が記録されたディスクを挿入後、再生ボタンを押すと、先頭のMP3トラックとJPEGトラックから、同時再生が始まります。
- WMAファイルとJPEGファイルを同時に再生することはできません。同時再生中にファイルリストからWMAファイルを選択すると、WMAファイルのみの再生となります。
- デュアル再生は、すべてのファイル構成の組み合わせを保証するものではありません。

再生のしかた

フジカラーCDの再生

JPEG

1 フジカラーCDを挿入し、メニュー を押す

● フジカラーCDのメニューが表示されます。

現在の画像番号/総画像数

● 画面内にすべての画像が表示されない場合は、次のページを示す "▶▶|" が表示されます。
前のページがある場合には "|◀◀" が表示されます。

● スキップ |◀◀ ▶▶| を押して、表示したいページを選択します。

● 現在の画像番号と総画像数は中央下部に表示されます。

● すべての画像が表示されるまで時間がかかることがあります。

2 画像を選択する

● カーソルボタン ◀/▲/▶/▼ を押して再生したい画像を選択し、再生 ▶ または 決定 を押します。

● 選択された画像から画像再生が始まります。トラックは「初期設定」の[スライドショー]で設定された時間（5秒間または10秒間）で表示され、次のトラックに移ります。

● 画像が表示されている間は、▶ を押すごとに時計まわりに、◀ を押すごとに反時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。

3 再生をやめるときは 停止 ■ を押す

● 再生中にメニューボタンを押すと[⃠（禁止マーク）]が表示されます。
● 「初期設定」の[スライドショー]を[ミュージック]にしている場合は、5秒で表示されます。
● 「初期設定」の[スライドショー]表示時間設定が、[5秒]または[10秒]であっても、JPEGサイズが大きい場合、表示時間が長くなる場合があります。

再生のしかた

早送り／早戻し（サーチ）をする

DVD　CD　MP3　WMA

1 再生中に ◀◀ か ▶▶ を押す
(DVDの音声は出ません。)

ボタンを押すたびに再生速度が変わります。

- DVDの場合、ディスクによって早送り／早戻しの速度が異なる場合がありますが、目安は1(x2)、2(x8)、3(x20)、4(x50)、5(x100)です。
- 音楽用CD、MP3、WMAの場合の早送り／早戻しの速度の目安は1(x2)、2(x8)、3(x30)です。
- 再生速度の倍速は通常再生を１としたときの目安です。実際の速度ではありません。

DVDの場合

• 本体で操作するときは、スキップボタン（ スキップ/早戻し または 早送り/スキップ ）を2秒以上押します。2秒以上押すたびに再生速度が変わります。

2 再生 ▶ を押すと通常の再生速度に戻る

ちょっと一言！

- タイトルまたはトラック（MP3、WMA）をまたぐ早送り/早戻しはできません。
- DVDで早送り／早戻し中に映像にブレが生じる場合は、「初期設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 58〜59ページ]

再生のしかた

続きから再生する（リジューム機能） DVD CD MP3 WMA JPEG

1 再生中に 停止(■) を押す

- 再生が停止し、次いで画面中央に約10秒間メッセージが表示されます。

<DVD、音楽用CDの場合>　<MP3、WMA、JPEGの場合>

2 再生(►) を押す

- 停止した位置から、続けて再生されます。

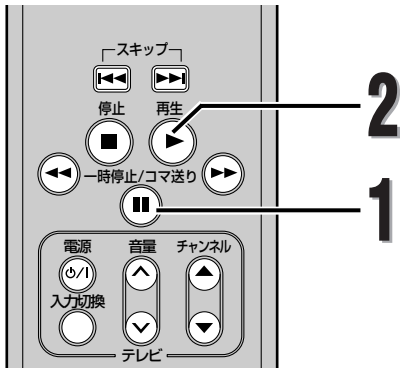
再生

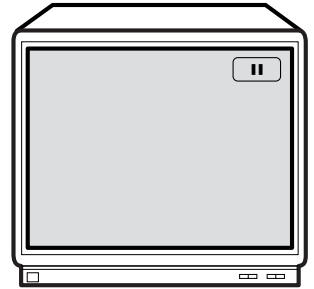
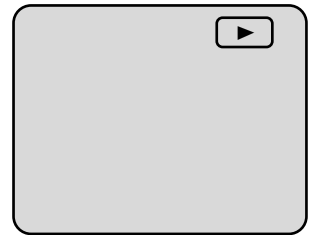
ちょっと一言!

- 停止ボタンを2回押すか、ディスクトレイを開くと、つづき情報（リジューム）はリセットされます。
- 電源を切っても、つづき再生（リジューム）の情報は消えません。
- つづき情報を保持しているとき、DVDの場合、再び電源を入れると自動的につづき再生を開始します。CDの場合、約10秒間「再開メッセージ」が表示されます。
- MP3、WMA、JPEGでは停止したトラックの先頭から続けて再生されます。

再生のしかた

一時停止（静止）

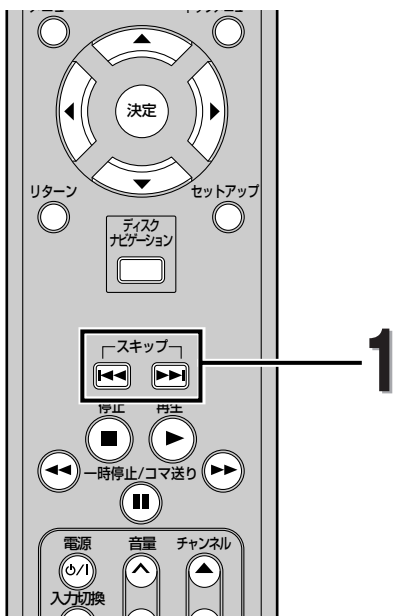
DVD　CD　MP3　WMA　JPEG

1 再生中に 一時停止/コマ送り を押す

- 再生が一時停止し、音声は消音となります。
- DVDは静止画再生となります。
- 音楽用CD または、MP3、WMA、JPEG は、一時停止となります。

ちょっと一言！

- 静止中の映像にブレが生じる場合、「初期設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 58〜59ページ]
- MP3とJPEGの同時再生中に一時停止/コマ送りボタンを押すと、JPEGファイルのみ一時停止します。再度一時停止/コマ送りボタンを押すと、MP3ファイルも一時停止します。
- MP3とJPEGの同時再生時のMP3とJPEGの両方が一時停止中に再生ボタンを押すと、両ファイルとも再生が再開されます。

2 再生に戻すには 再生 を押す

チャプターやトラック（ファイル）を頭出しする（スキップ）

DVD　CD　MP3　WMA　JPEG

1 再生中に スキップ ▶▶| か |◀◀ スキップ を押す

- DVDの場合は、同一タイトル内のチャプターの頭出しができます。
- 音楽用CDまたは、MP3、WMA、JPEG の場合は、トラック（ファイル）の頭出しができます。

スキップ ▶▶| ー次のチャプターを頭出しします。

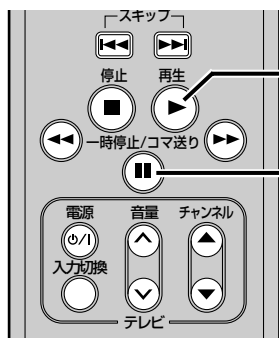
または

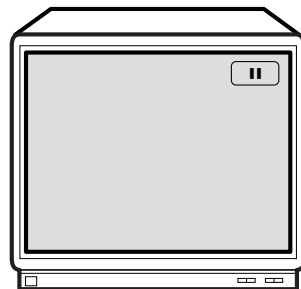
|◀◀ スキップ ー現在のチャプターを頭出しします。さらに押すと前のチャプターに戻ります。

ちょっと一言！

- タイトルまたはトラックをまたぐスキップはできない場合があります。
- MP3とJPEGを同時再生しているときのスキップ操作は、MP3ファイルに対してのみ有効です。ただし、「初期設定」の[スライドショー]を[ミュージック]にしている場合は、MP3、JPEGのどちらのファイルにも有効です。[➡ 64〜65ページ]

再生のしかた

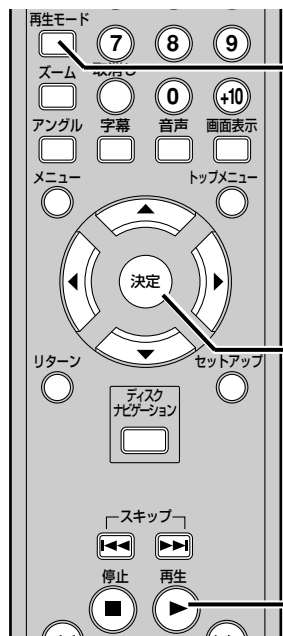
コマ送り再生

1 一時停止中に 一時停止/コマ送り を押す

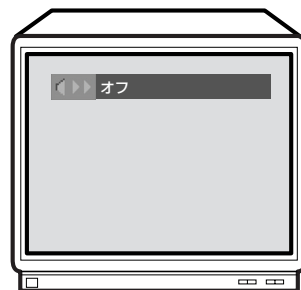
- ボタンを押すたびに、音声は消音されたまま、コマ送りされます。

2 再生に戻すには 再生 を押す

ちょっと一言!

- 本機はコマ戻しできません。
- コマ送り中に映像にブレが生じる場合、「初期設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。
[➡ 58〜59ページ]

早見早聞／遅見遅聞再生

※ドルビーデジタル方式で記録されたディスクのみで動作します。

1 再生中に が表示されるまで 再生モード を繰り返し押す

- 現在の設定状態が表示されます。

2 決定 で設定を切り換える

- ♪　：約0.8倍速で再生を行います。（遅見遅聞再生）
- ♫　：約1.3倍速で再生を行います。（早見早聞再生）
- オフ　：通常再生を行います。

3 再生 を押すと通常再生に戻る

ちょっと一言!

- 早見早聞／遅見遅聞再生中は、音声（言語）切り換えはできません。
- 早見早聞／遅見遅聞再生中は、バーチャルサラウンド設定、黒レベル設定はできません。
- 早見早聞／遅見遅聞再生中は、バーチャルサラウンド機能は働きません。
- ディスクによっては早見早聞／遅見遅聞再生できない箇所があります。
- デジタル音声出力端子（光／同軸）に接続している場合、PCM音声が出力されます。

再生

再生のしかた

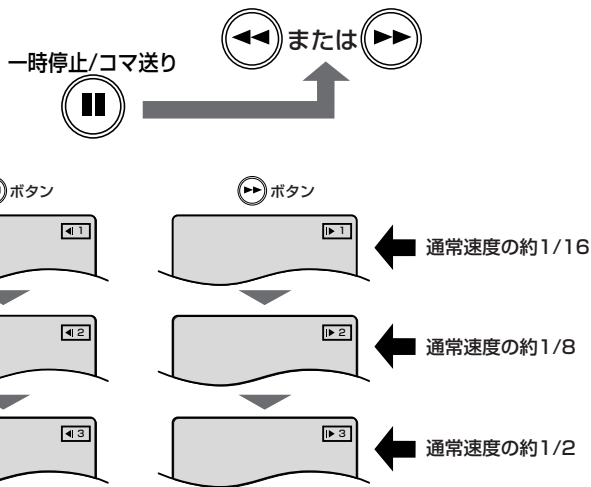
スロー再生

DVD

1 一時停止中に⏪または⏩を押す

(DVDの音声は出ません。)

- スローモーションモードで再生が行なわれます。
- ⏪または⏩を押すたびに3段階に再生速度が変わります。
- ディスクによって再生速度が異なる場合がありますが、目安は1(1/16)、2(1/8)、3(1/2)です。

・本体で操作するときは、スキップボタン（スキップ/早戻し または 早送り/スキップ）を2秒以上押します。2秒以上押すたびに再生速度が変わります。

2 再生を押すと通常の再生速度に戻る

ちょっと一言!

- 音楽用CDのスロー再生はできません。
- ディスクによっては、表示されている速度より遅くなる場合があります。
- スロー再生中の映像にブレが生じる場合、「初期設定」で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 58～59ページ]

再生のしかた

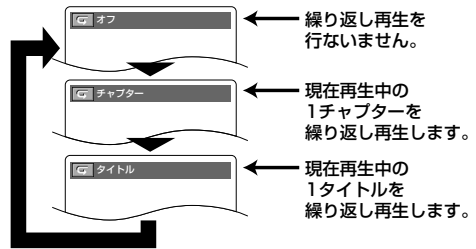
繰り返し再生（リピート再生）

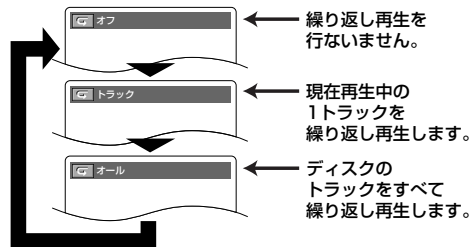
DVD CD MP3 WMA JPEG

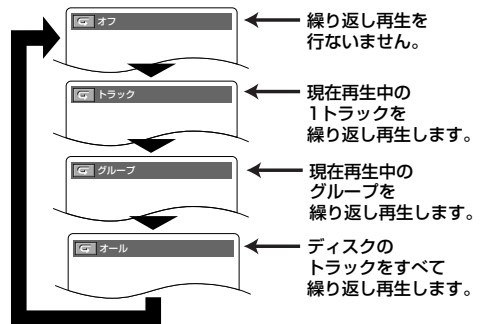
1

再生中に リピート を押す

DVDの場合

- 1つのタイトルまたはチャプターを、繰り返し再生することができます。
- リピート を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

音楽用CDの場合

- ディスク全体または1つのトラックが繰り返し再生されます。
- リピート を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

MP3、WMA、JPEGの場合

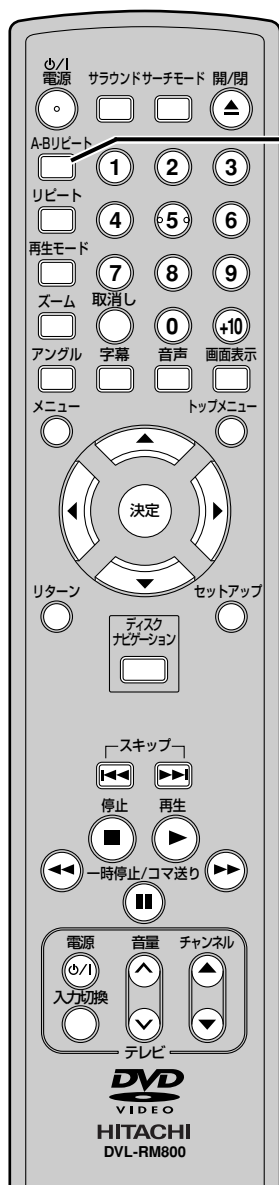
- グループ（フォルダ）または1つのトラック（ファイル）、ディスク全体が繰り返し再生されます。
- リピート を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

プログラム/ランダム再生中に リピート を押し、“リピート[オール]”にするとプログラム/ランダム再生が繰り返し実行されます。（CD：35～37ページ／MP3、WMA、JPEG：36～37ページ）

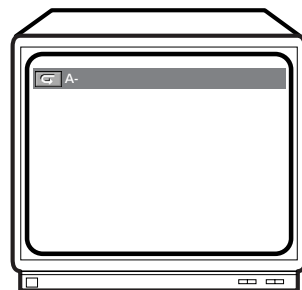
ちょっと一言！

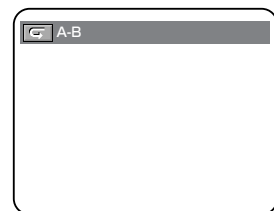
- ディスクによっては、再生の繰り返しができないものがあります。
- “リピート”の設定をした後、別のタイトル、チャプター、トラック（ファイル）に移ったとき、この設定は消去されます。
- リピート設定をしても、タイトル、チャプターの先頭に戻らず、次の場面に移るディスクがあります。
- A-Bリピート設定中は、リピート設定できません。

繰り返し再生（A-Bリピート再生）

DVD CD

繰り返し再生するように、設定することができます。

1 再生中に、繰り返し再生の開始点にしたい箇所で A-Bリピート を押す

- 開始ポイント（A）が選択されます。

2 リピート再生の最終点にしたい箇所で、再度 A-Bリピート を押す

- 最終点ポイント（B）が選択されます。
- 選択された区間が繰り返し再生されます。

3 A-Bリピート再生を終わらせるには、A-Bリピート を押してリピート再生をオフに切り換える

オフ

ちょっと一言！

- DVDの場合、A-Bリピートは、現在のタイトル内にのみ設定することができます。
- 音楽用CDの場合、A-Bリピート区間は、現在のトラック（ファイル）内に設定することができます。
- DVDの場面によっては、A-Bリピート機能を利用できない場合もあります。

- 設定されたAポイントをキャンセルするには、取消し を押すと、“ [オフ]”と表示されます。
- MP3、WMAのA-Bリピートはできません。
- リピート設定中は、A-Bリピート設定できません。
- 開始点（A）のみ設定したままタイトル／トラックの終端まで再生された場合は、自動的に終端にB点が設定されます。

再生のしかた

プログラム再生

CD

1 停止中に 再生モード を押す

- 「プログラム設定画面」が表示されます。

2 ▲/▼を押して、希望するトラック（ファイル）番号を選択し、 決定 を押す

- 選択したトラックの合計時間が画面上側に表示されます。
- 最後に入力したプログラムを取り消すには、

取消し を押します。

3 再生 を押す

- プログラムされている順序で再生が開始します。

ちょっと一言!

- プログラム再生中はプログラムの追加は実行できません。プログラムを追加する場合は、プログラム再生を停止してください。
- プログラム再生中は、希望のトラックからの再生およびランダム再生はできません。
- プログラムの設定は、電源が切れたり、トレイが開くと、消去されます。
- 全てのプログラムを消すには、手順2で“オールクリア”を選択してください。
- プログラム再生中に、プログラム設定した次のトラックを再生するときは スキップ ▶▶| を押してください。
- 最大で99トラックまでプログラムできます。
- 設定したプログラム画面のページを切り換えるときは、スキップ（|◀◀ ▶▶|）を押してください。

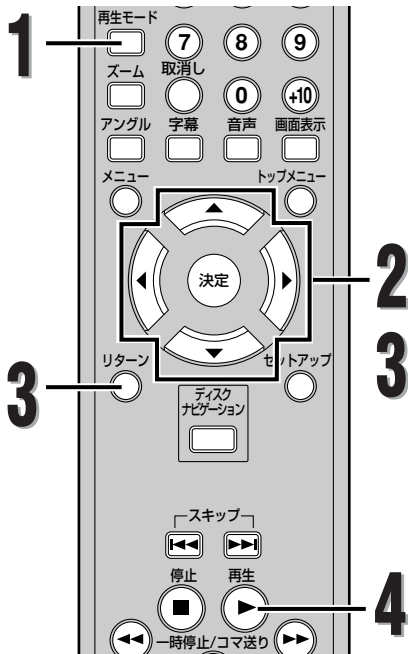
プログラム再生中、停止ボタンは次のように作動します。

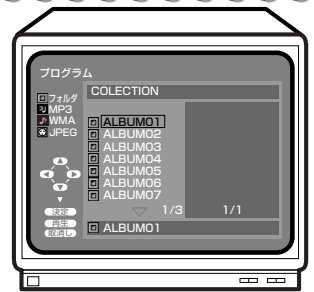
- 停止ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。

  再生再開時：停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。
- 停止ボタンを2回押した場合、プログラムオフとなります。プログラム設定は保持されます。プログラム再生を再開したい場合は、再生モードボタンを押し、プログラム設定画面で再生ボタンを押してください。
  停止状態で再生ボタンを押すと、トラック1から通常再生を始めます。

再生

MP3/WMA/JPEGディスクをプログラム順に再生する MP3 WMA JPEG

［デュアル再生］を［オン］にしている場合、プログラム再生はできません。

1 停止中に 再生モード を押す

● 「プログラム設定画面」が表示されます。

2 ▲/▼でグループ（フォルダ）を選択し 決定 を押す

● 「トラック（ファイル）選択画面」になります。

3 ▲/▼でトラック（ファイル）を選択し、決定 を押すとプログラムが入力される

● プログラム入力されたトラック（ファイル）は右画面に表示されます。
● 画面内に全て表示しきれない場合は次のページを示す“▼”が表示されます。

プログラム
ALBUM01
フォルダ / MP3 / WMA / JPEG
PICTURE11 / PICTURE12 / PICTURE13 / TRACK11 / TRACK12 / TRACK13 / TRACK14
TRACK11
2/3　1/1
TRACK11

● ◀ を押すと現在選択しているグループ（フォルダ）の1階層上のグループ（フォルダ）を一覧表示します。
● ▶ を押すと現在選択しているグループ（フォルダ）の次のグループ（フォルダ）を一覧表示します。
● リターン を押すとプログラムの内容を記憶した状態で停止画面になります。

4 プログラム入力が完了すれば 再生 を押す

● プログラム再生が始まります。

ちょっと一言！

- 取消し を押すと最後に入力したプログラムを取り消すことができます。
- すべてのプログラムを消すには、手順2でリストの最後にある“オールクリア”を選択してください。
- 最大99トラック（ファイル）までプログラム設定することが可能です。
- MP3ファイル、WMAファイルとJPEGファイルが混在して記録されているディスクを挿入している場合は、MP3ファイル、WMAファイルとJPEGファイルを、あわせて最大99トラック（ファイル）までプログラム設定することが可能です。
- 8トラック以上プログラム設定されている場合は、スキップ ▶▶| または スキップ |◀◀ で右画面を切り換えることができます。
- 電源を切ったりディスクトレイを開けるとプログラム設定は解除されます。

プログラム再生中、停止ボタンは次のように作動します。

- 停止ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。
  再生再開時：停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。
- 停止ボタンを2回押した場合、プログラムオフとなります。プログラム設定は保持されます。プログラム再生を再開したい場合は、再生モードボタンを押し、プログラム設定画面で再生ボタンを押してください。
  停止状態で再生ボタンを押すと、トラック1から通常再生を始めます。

再生のしかた

ランダム再生

CD MP3 WMA JPEG

［デュアル再生］を［オン］にしている場合、ランダム再生はできません。（MP3、WMA、JPEG）

1 停止中に 再生モード を押す

● 「プログラム設定画面」が表示されます。

2 再生モード をもう一度押す

● 「ランダム設定画面」が表示されます。

<音楽用CDの場合>

<MP3、WMA、JPEGの場合>

3 再生 を押す

● ランダム再生が始まります。

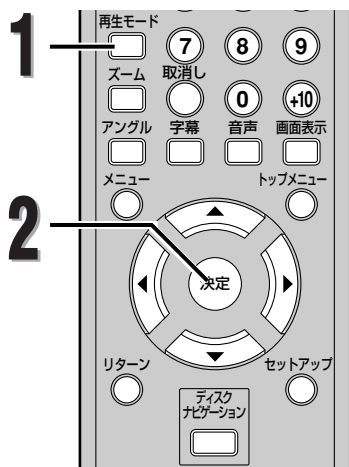
ちょっと一言！

- ランダム再生中は、希望のトラックからの再生およびプログラム再生はできません。
- MP3ファイル、WMAファイルとJPEGファイルが混在して記録されているディスクは、すべてのファイルのランダム再生を行ないます。
- ランダム再生中は、前のトラックへ戻ることはできません。
- ランダム再生中に停止ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。
- ランダム再生は、電源が切れたり、トレイが開くと解除されます。

再生のしかた

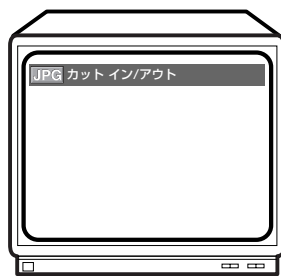
スライドショーモード

JPEG

再生中にスライドショーモード（画像を順番に表示する）を切り換えることができます。

1 再生中に 再生モード を「スライドショーモード画面」が表示されるまで押す

- 「スライドショーモード画面」が表示されます。
- 停止中、またはファイルリスト画面やピクチャーCD（フジカラーCD）メニュー画面からスライドショーモードを切り換えることはできません。

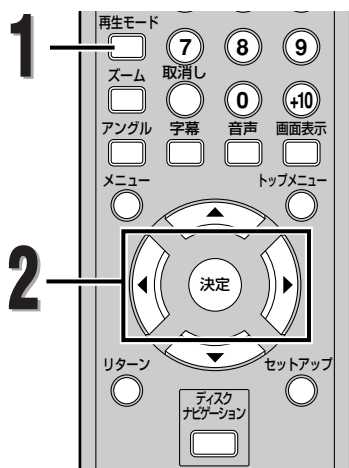
2 決定 を押す

- スライドショーモードが切り換わります。
- カット　イン／アウトモード：
  完全な画像を順次表示していきます。
- フェード　イン／アウトモード：
  次の画像に移るときに、徐々に表示していきます。

ちょっと一言!

- JPEGファイルの[スライドショー]の画面切り換わり時間を変えることができます。[➡ 64 ～ 65ページ]
- 「初期設定」の[スライドショー]表示時間設定が、[5秒]または[10秒]でも、JPEGサイズが大きい場合、表示時間が長くなる場合があります。
- プログレッシブJPEGは再生できません。

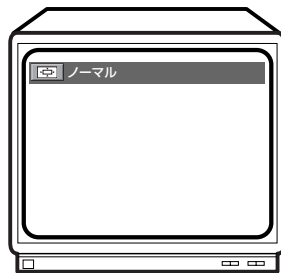
JPEGファイルの画像サイズを調整する

JPEG

接続するテレビによっては表示されるJPEGファイルの端が切れる場合があります。このような場合には、画像を少し小さくし表示します。

1 再生中に 再生モード を「画像サイズ変更画面」が表示されるまで押す

- 「画像サイズ設定画面」が表示されます。
- 停止中、または「リスト画面」から「画面サイズ設定画面」を表示することはできません。

2 決定 または ◀/▶ で設定を切り換える

- ノーマル：100%の画面サイズで表示します。
- スモール：95%の画面サイズで表示します。

ちょっと一言!

- スモールにしても、効果の現れない画像があります。
  〈例〉画像サイズの小さなファイルなど

再生のしかた

MP3/JPEGディスクを グループ（フォルダ）ごとに再生する（フォルダ再生）

MP3 JPEG

［デュアル再生］を［オフ］にしている場合、フォルダ再生はできません。

1 停止中に 再生モード を押す

- 「フォルダリスト画面」が表示されます。
- グループ（フォルダ）がない場合の再生方法は24～26ページを参照してください。

2 ▲/▼でグループ（フォルダ）を選択し、決定を押す

- 選択したグループ（フォルダ）内のMP3とJPEGのファイルを同時に再生します。

フォルダ再生中、停止ボタンは次のように作動します。

- 停止ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。
  再生再開時：停止されていた位置から、フォルダ再生を続けることができます。
- 停止ボタンを2回押した場合、フォルダ再生“オフ”となります。

ちょっと一言！

- フォルダ再生は、電源が切れたりディスクが入っているトレイが開くと解除されます。

再生

希望するところから再生する（サーチ）

ディスクメニューを使う

DVD

ディスクの内容を表示し、ディスクメニューから再生することができます。

（例）

● 表示される内容はDVDによって異なります。ここでは一般的な操作の例を示しています。

1 メニュー を押す

● ディスクメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

● カーソルボタン ◀ / ▲ / ▶ / ▼ を押して選びます。

次に 決定 を押します。

● ディスクによっては、数字ボタンや再生ボタンが有効な場合があります。
● 選択したタイトルから再生が始まります。

ちょっと一言！

● ディスクの取扱説明書をお読みください。

サーチ

希望するところから再生する（サーチ）

タイトルメニューを使う

DVD

タイトルメニューが入っているDVDの場合は、このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。

1
トップメニュー ◯ を押す

● タイトルメニューが表示されます。

2
希望するタイトルを選択する

● カーソルボタン ◀/▲/▶/▼ を押して選びます。

次に 決定 を押します。

● ディスクによっては、数字ボタンや再生ボタンが有効な場合があります。
● 選択したタイトルから再生が始まります。

再生中にメニュー画面を呼び出す

● メニュー ◯ を押してDVDメニューを呼び出します。

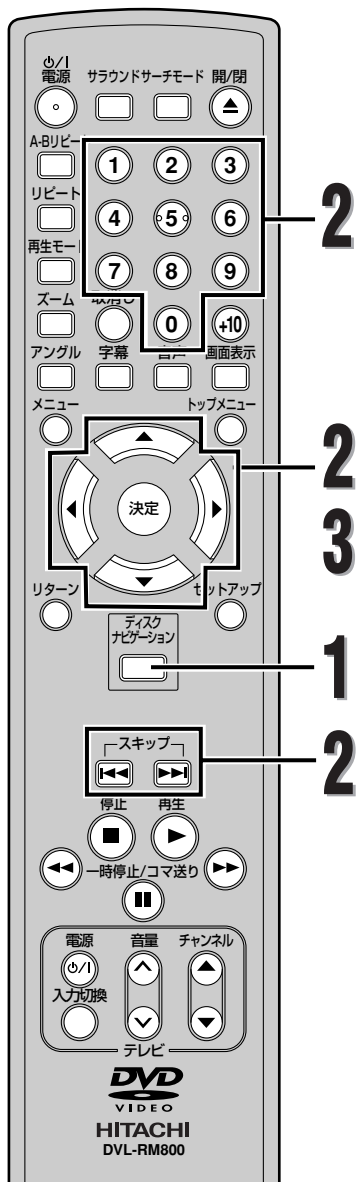
● トップメニュー ◯ を押してタイトルメニューを呼び出します。

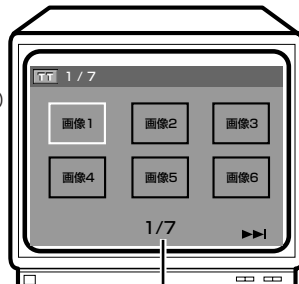
（ディスクによっては メニュー ◯ を押したときと同じ画面が表示されます。）

希望するところから再生する（サーチ）

ナビゲーション機能を使う

DVD

ディスクナビゲーション画面の中から希望するチャプターを選択することができます。

1 ディスクナビゲーション を押す

- タイトル再生中または、リジュームオン時は、再生中のタイトルのチャプター画面が表示されます。
- 再生中のチャプターの子画面が黄色の枠で選択された状態で表示されます。
- チャプターの番号が子画面の右下に表示されます。
- リジュームオフ時は、タイトル1の各チャプターの最初の画面が表示されます。
- ディスクによりチャプターの最初の子画面から表示されない場合があります。

選択されたチャプター番号／総チャプター数

2 希望するチャプターを選択する

- カーソルボタン ◀/▲/▶/▼ を押して選びます。
- 1ページに6画面まで表示されます。6画面以上ある場合は スキップ ▶▶I / スキップ I◀◀ （またはカーソルボタン ◀/▶）を押してページを切り換えてください。
- 上側の3つの画像に黄色の枠があるとき、カーソルボタン ▲ を押すとタイトルを選択することができます。
- 数字ボタンを押し、希望するタイトルを選ぶと選択したタイトル画面になります。
- タイトル番号を変更することで、お好みのタイトルの各チャプターを表示することができます。

3 決定 を押す

- 選択したチャプターから再生が始まります。
- 再生ボタンを押しても再生が始まります。

ちょっと一言！

- 手順3で、決定ボタンを押す前にディスクナビゲーションボタンを押すと、ディスクナビゲーション機能が停止し、再生が停止します。リジューム情報は保持されません。次に再生を始めるとディスクの最初から再生されます。
- ディスクによっては、ディスクナビゲーションの画面の一部が表示されなかったり、位置がずれてしまうことがありますが、故障ではありません。
- 子画面に横すじや部分的な乱れが発生することがありますが、故障ではありません。
- ディスクによっては、ディスクナビゲーション画面を表示できない場合があります。
- ディスクナビゲーション画面表示中は、音声はでません。
- 6画面を表示するまで約15秒かかりますがディスクによっては長くかかることもあります。続けて操作する場合は、6画面表示終了後に次の操作を行なってください。
- ディスクナビゲーション画面を長時間表示していると、ご使用のテレビによって画面の残像が残る場合がありますので、ディスクナビゲーション画面を表示したままにしないでください。
- ディスクによってはチャプター表示が「－－－」となる場合があります。

希望するところから再生する（サーチ）

希望するチャプターまたはタイトルからの再生

DVD

1

再生中に サーチモード を押す

- 「チャプターサーチ画面」が表示されます。

2

タイトル番号を変更する場合は、もう一度 サーチモード を押す

- 「タイトルサーチ画面」が表示されます。

TT _ _ / 12

3

数字ボタンを押して希望するチャプター番号またはタイトル番号を入力する

- ディスクに2桁以上のチャプターやタイトルがある場合、1桁の数字を入力するには ⓪ を押してから希望の数字を押してください。

  例）チャプター1: ⓪ → ①

  例）チャプター12: ① → ②

- ディスクが1桁のチャプターやタイトルの場合は、直接数字を押してください。

  例）チャプター1: ①

- 入力を間違った場合は 取消し を押して入力し直してください。

スキップボタン（スキップ ⏮ 、スキップ ⏭）の使い方

再生中または再生が一時停止中に スキップ ⏭ を押すと、そのときに再生されていたチャプターを飛ばし、次のチャプターが再生されます。スキップ ⏮ を一回押すと、再生されていたチャプターの頭出しをして再生を始めます。続けて スキップ ⏮ を2度押すと一つ前のチャプターの頭出しをして再生を始めます。

サーチ

- DVDによっては、希望するタイトルまたはチャプターからの再生ができないことがあります。
- 再生中に希望するチャプター番号の数字ボタンを押すと、現在再生中のタイトルのチャプター番号を選択し、再生されます。
- 停止中に希望するタイトル番号の数字ボタンを押すと、指定したタイトル番号の先頭から再生されます。2桁以上のタイトル番号を入力する場合は、 +10 を押し、手順１の画面が表示されてから数字を入力します。

希望するところから再生する(サーチ)

希望するタイムカウントからの再生

DVD CD

1 再生中に サーチモード を「タイムカウント画面」が表示されるまで押す

- 音楽用CDの場合は、2回押します。

2 数字ボタンを押すと希望するタイムカウント(時間)から再生が始まる

- 例：　1時間23分30秒
  1→2→3→3→0
- 入力を間違った場合は 取消し を押して入力し直してください。

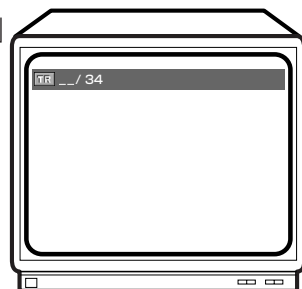
ちょっと一言！

- DVDの場合、チャプターのタイムサーチはできません。
- 音楽用CDの場合、CD全体のタイムサーチはできません。
- ディスクによっては、タイムカウント(時間)からの再生ができないものがあります。
- ディスクのトータルを超えた数値を入れたとき、タイムサーチは働きません。
- MP3、WMAのタイムサーチはできません。
- タイトルやトラックの総時間に応じて、入力する必要のない箇所にはあらかじめ0が表示されます。例えばタイトルやトラックの総時間が10分未満ならば、0：0_：_ _と表示されます。

希望するところから再生する(サーチ)

希望するトラック（ファイル）からの再生 CD MP3 WMA JPEG

1 再生中に サーチモード を押す

- 「トラックサーチ画面」が表示されます。

2 数字ボタンを押すと希望するトラック（ファイル）番号から再生されます

- ディスクに2桁以上のトラック（ファイル）があるとき、1桁の数字を入力するには 0 を押してから希望の数字を押してください。

  例）トラック（ファイル）1： 0 → 1

  例）トラック（ファイル）12： 1 → 2

- ディスクが1桁のトラック（ファイル）しかない場合は、直接数字を押してください。

  例）トラック（ファイル）1： 1

スキップボタン(スキップ⏮ 、 スキップ⏭)の使い方

再生中または再生が一時停止中に スキップ⏭ を押すと、そのときに再生されていたトラック（ファイル）を飛ばし、次のトラック（ファイル）が再生されます。 スキップ⏮ を一回押すと、再生されていたトラック（ファイル）の頭出しをして再生を始めます。再生が始まってから2秒以内に スキップ⏮ を2回押すと一つ前のトラック（ファイル）の頭出しをして再生を始めます。

- 再生または停止中に数字ボタンを使って、希望するトラック（ファイル）から再生を始めることができます。2桁以上のトラック番号を入力する場合は、 +10 を押し、手順１の画面が表示されてから数字を入力します。

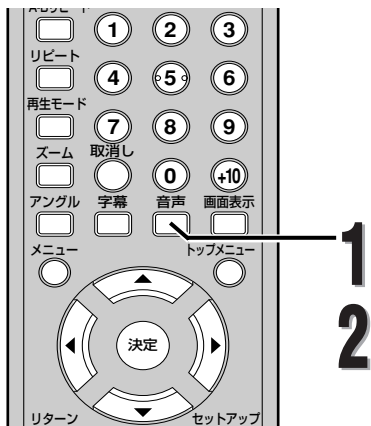
サーチ

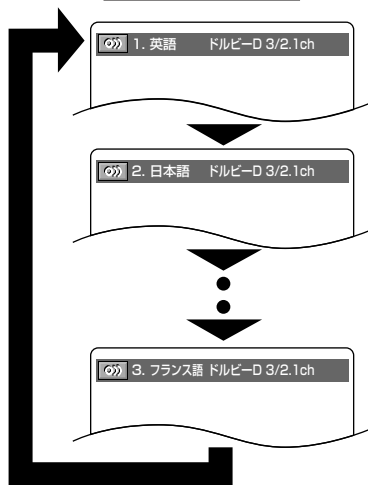
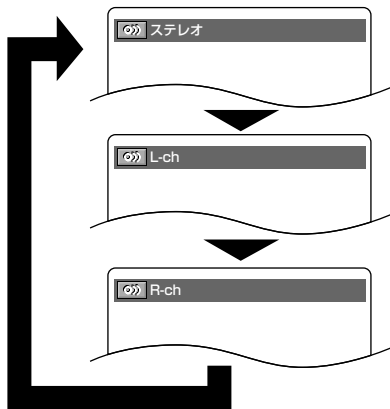
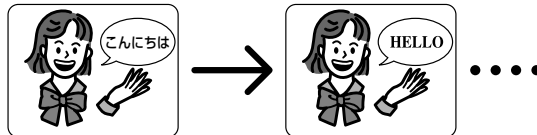
再生中に切りかえる

音声（言語）をかえる

DVD　CD

本機には、希望する音声(言語)および音声モードが選択できる機能が備えられています。

1 再生中に 音声 を押す

2 音声 をくり返し押して、希望する音声(言語)を選択する

- DVDディスクに複数の音声（言語）が含まれている場合に切り換えることができます。
- 音楽用CDはステレオ/左チャンネル/右チャンネルに切り換えることができます。

言語が切り換わります。

ちょっと一言!

- ディスクによっては、複数の言語が入っていても 音声 が作動しないことがあります。
  このような場合は、メニュー画面で音声言語を切り換えてください。
- 音声 を数回押しても希望する言語が表示されないとき､言語がディスクに含まれていません。
- 電源投入時、初期画面で選択される言語に戻ります。選択された言語がディスクに含まれていないときは､ディスクに入っている言語が選ばれます。
- 音声言語表示画面は、約5秒後に消えます。
- 音声言語の表示には"日本語"や"英語"の他に、アルファベット3文字や"－－－"と表示される場合があります。
- DTS CDの場合、音声モードを切り換えることはできません。
- 早見早聞/遅見遅聞再生中は、音声（言語）の切り換えはできません。[➡ 31ページ]
- 音楽用CDの音声をステレオ以外に設定している場合、バーチャルサラウンドは設定できません。
- MP3、 WMA音声の設定は変更できません。

さらに

再生中に切りかえる

字幕（言語）をかえる

DVD

本機には、希望する字幕(言語)を選択できる機能が備えられています。

1 再生中に 字幕 を押す

2 さらに 字幕 を押して希望する言語の字幕を選択する

- 再生中のDVDに複数の言語が含まれている場合、字幕(言語)を切り換えることができます。
- 字幕(言語）が、再生中のDVDに1つしか含まれていない場合、切り換えることができません。

- 字幕 を押すと字幕(言語）が、字幕１、字幕2---と切り換わります。
- 字幕(言語)オン/オフの切り換えは次のように行なうことができます。

1. 字幕 を押す。
2. ◀ / ▶ を押す。

ちょっと一言!

- DVDディスクメニューで字幕（言語）の設定をするDVDがあります。(DVDにより操作が異なります。操作方法については、DVDに付属の説明書にしたがってください。)

- 字幕 を数回押しても希望する言語が表示されないときは、ディスクのメニュー画面で字幕を切り換えてください。
- 電源投入時、初期画面で選択される言語に戻ります。選択された言語がディスクに含まれていないときは、ディスクに入っている言語が選ばれます。
- 変更した字幕(言語)が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。
- 字幕言語表示画面は、約5秒後に消えます。
- “なし”が画面上に表示されたときは、字幕はそのシーンに入っていません。
- 字幕言語には、"日本語"や"英語"のほかに、アルファベット3文字や"－－－"と表示される場合があります。
- ディスクによっては複数の字幕が入っていても字幕（言語）の切り換えを受けつけないものがあります。

再生中に切りかえる

アングル（カメラアングル）をかえる

DVD

本機には、希望するカメラアングルを選択できる機能が備えられています。

1

再生中に アングル を押す

- 各種カメラアングルの画像が記録されたDVDでは、画面右上にアングルマーク（ ）が表示されます。画面上にこのマークが表示されているときに、カメラアングルを変更できます。
- 画面に「禁止マーク」があらわれた場合、カメラアングルを変更することができません。

2

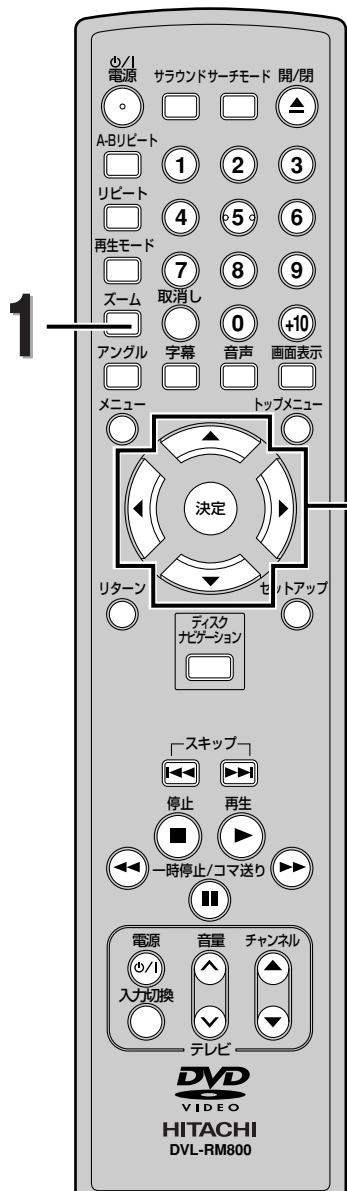
アングル番号が画面上に表示されている間に アングル を押す

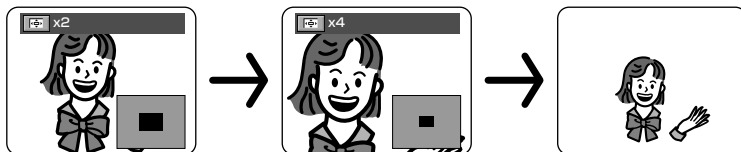
- アングル画面は約5秒後に消えます。
- アングルマークの設定をオフにしている場合は、「アングルマーク 」は表示されません。アングルマークの設定をオンにしている場合、各種カメラアングルの画像が記録されたシーンではアングルマーク（ ）が常時表示されます。[➡ 64～65ページ]

再生中に切りかえる

ズーム再生（画面上で拡大）

DVD JPEG

お好みにより画面上で2倍または4倍の大きさに拡大できます。

1 再生中に ズーム を押す

- 画面中央で画像が拡大されます。
- ズーム をくり返し押すと、2段階の切り換えができます。

2 ズーム再生中に ◀ / ▲ / ▶ / ▼ を押すと、ズームする部分が移動する

- ズームフレームを中心から上下左右に移動させることができます。2倍ズームのときは4段階、4倍ズームのときは6段階で移動できます。
- 現在拡大されている箇所は画面右下のカーソル部分です。
- 画面右下の表示が不要な場合は 決定 を押してください。
- ディスクによっては4倍ズームができないものもあります。
- JPEGの場合は2倍ズームのみ機能し、ズーム位置は表示されません。

さらに

再生中に切りかえる

黒レベル設定

DVD

画面で暗いところを全面的に明るくします。

1 再生中に 再生モード を「黒レベル設定画面」が表示されるまで押す

2 決定 または ◀/▶ で[オン/オフ]を切り換える

バーチャルサラウンド設定

DVD CD MP3 WMA

1 再生中に サラウンド を押す

- 現在の「バーチャルサラウンド設定画面」が表示されます。

2 サラウンド で[1(標準)/2(強)/オフ]を切り換える

● 再生モードボタンで設定する場合

再生モード を「バーチャルサラウンド設定画面」が表示されるまで押す。

決定 または ◀/▶ で[1（標準）/2（強）/オフ] を切り換える。

ちょっと一言!

- ディスクによってはサラウンド効果がでにくいものや、でないものがあります。
- 音声がひずむ場合は、バーチャルサラウンド設定を[オフ]にしてください。
- 音楽用CDで音声モード[ステレオ]以外に設定している場合は、バーチャルサラウンドを切り換えることができません。
- 黒レベル、バーチャルサラウンドの各種設定値は、電源をオフにしても記憶します。
- 早見早聞/遅見遅聞再生中は黒レベル、バーチャルサラウンド設定はできません。

再生中に切りかえる

マーカー設定

DVD CD

マーカー機能を使って、指示した箇所より再生することができます。マーカーは10個まで設定することができます。

マーカーを設定する

1 再生中に サーチモード を「マーカー設定画面」が表示されるまで押す

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 AC
TT -- --:--:--

2 ◀/▶ で設定されていない1〜10までの数字を選ぶ

3 決定 を押す

- マーカーをつけた箇所の時間が表示されます。

4 サーチモード または リターン を押す

- 再生中画面に戻ります。

マーカー設定した箇所から再生する

1 再生中に サーチモード を「マーカー設定画面」が表示されるまで押す

2 ◀/▶ でマーカーをつけた数字を選び 決定 を押す

- 設定されていなければ、"____:__:__"と表示されます。
- 選択された箇所から再生が始まります。

マーカー設定を削除する

1 再生中に サーチモード を「マーカー設定画面」が表示されるまで押す

2 ◀/▶ でマーカーをつけた数字を選び 取消し を押す

- すべてのマーカー設定を削除するには、▶ で[AC]を選び、決定 を押します。

3 サーチモード または リターン を押す

- 再生中画面に戻ります。

ちょっと一言!

- 設定したマーカーは電源をオフにするか、トレイを開けると削除されます。

さらに

再生中の情報を見る（画面表示）

画面表示の切りかえ

DVD CD MP3 WMA JPEG

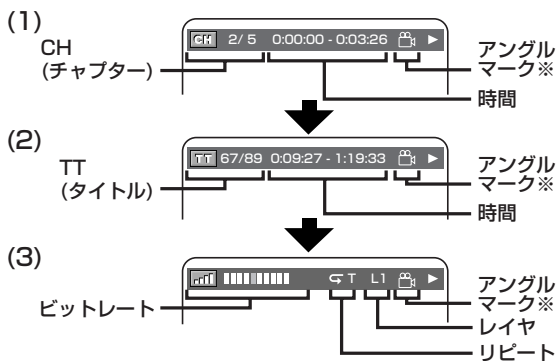
ワイヤレスリモコンの画質表示ボタンを押してディスクについての情報を確認することができます。

再生情報の表示

1

再生中に 画面表示 を押す

- 画面上に情報が表示されます。
- 画面表示 を繰り返し押すと、次の情報が表示されます。

DVDの場合

	項目	表示内容
(1)	CH	現チャプター番号/総チャプター数
	時間	チャプター経過時間/チャプター残り時間
(2)	TT	現タイトル番号/総タイトル数
	時間	タイトル経過時間/タイトル残り時間
(3)	ビット レート	画像の情報量 DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます (リピート設定されていないときは、表示されません)。C：チャプター　T：タイトル
	レイヤ	L0/L1 2層ディスクを再生している時、現在再生しているレイヤ（層）を表示します。

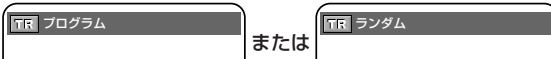
リターンボタン、または画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。
※カメラアングルが切り換え可能な場合のみ表示されます。

音楽用CDの場合

(3) プログラム/ランダム再生中のみ

TR プログラム　または　TR ランダム

	項目	表示内容
(1)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間/トラック残り時間
(2)	オール	現トラック番号/総トラック数
	時間	ディスク経過時間/ディスク残り時間

リターンボタン、または画面表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

再生中の情報を見る（画面表示）

MP3、JPEGの場合

(3) プログラム/ランダム再生中のみ

プログラム　または　ランダム

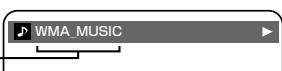
	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラック（ファイル）の名称
(2)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T：トラック（ファイル） G：グループ（フォルダ） A：オール

再生中にリピートボタンを押すと、リピート再生の設定をかえることができます。
リターンボタン、または画質表示ボタンを押すと再生画面に戻ります。

- **時間表示(0:00:03)をしているときは操作ボタンを受け付けます。**
  時間表示(–:––:––)をしていないときは操作ボタンを受け付けません。

デュアル再生オン設定時のMP3、JPEGの場合

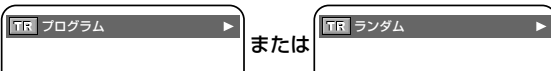
(1) JPEGファイル名

(3) MP3のトラック番号/時間

フォルダ再生のみ

フォルダ再生

	項目	表示内容
(1)	ファイル名（JPEG）	現在再生しているJPEGトラックの名称
(2)	ファイル名（MP3）	現在再生しているMP3トラックの名称
(3)	TR	現MP3トラック番号/総トラック数
	時間	MP3トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態（リピート設定されていないときは表示されません） T:トラック　G:グループ　A:オール

リターンボタンを押すと、表示なしの画面に戻ります。

WMAの場合

(5) プログラム/ランダム再生中のみ

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラックの名称
(2)	タグ情報(タイトル名)	現在再生しているトラックのタイトル名
(3)	タグ情報(アーティスト名)	現在再生しているトラックのアーティスト名
(4)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T：トラック（ファイル） G：グループ（フォルダ） A：オール

ファイル名は25文字まで表示されます。
タイトル名、アーティスト名は64文字まで表示されます。
一度に表示できない場合は、スクロール表示されます。

初期設定をかえる(セットアップ)

設定一覧（出荷設定）

便利にお使いいただくためにご自分で変更できる設定と、工場出荷時の設定を一覧表にしています。

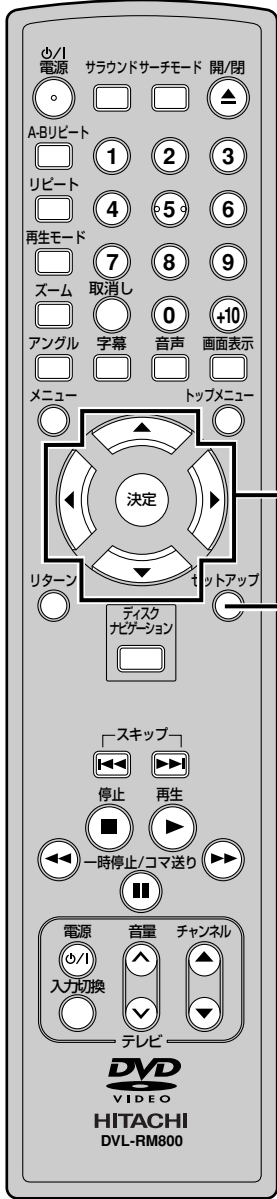
- ワイドテレビとの接続や、オーディオアンプとのデジタル接続時に設定を変える必要があります。詳しくは各ページをご参照ください。
- パレンタル設定以外の設定を初期化する方法は、68ページをご覧ください。

メニュー項目	設定項目(“白抜き”は工場出荷設定)		設定内容
1. 言語設定 ➡55～57ページ	音声言語	オリジナル 日本語 英語 ⋮	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定
	字幕言語	オフ 日本語 英語 ⋮	テレビに表示される字幕言語の種類を設定
	ディスクメニュー言語	日本語 英語 ⋮	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定
	プレーヤーメニュー言語 QUICK	日本語 ENGLISH	設定画面の言語やテレビ画面に表示される言語の設定
2. ビデオ設定 ➡58～59ページ	TV出力設定 QUICK	4:3レターボックス 4:3パンスキャン 16:9ワイド	接続するテレビのタイプに合わせて設定
	スチルモード	オート フィールド フレーム	一時停止中の画質を設定します。
	ロゴ	オン オフ	背景画面表示の有無
3. オーディオ設定 (デジタル出力) ➡60～61ページ	DRC	オン オフ	音量範囲をコントロールするか設定
	ダウンサンプリング	オン オフ	デジタル端子接続時、96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換するか設定
	ドルビーデジタル QUICK	ビットストリーム PCM	デジタル音声出力端子から出る音声信号の種類を設定
	DTS QUICK	オフ ビットストリーム	
4. パレンタル設定 (視聴制限) ➡62～63ページ	パレンタルレベル	オール 8～1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定
	パスワード変更	4桁のパスワードを入力	パスワードの設定・変更
5. その他の設定 ➡64～65ページ	アングルマーク	オン オフ	アングルマーク（🎥）の画面表示有無の設定
	表示窓の明るさ	明るい 暗い 自動	本体表示パネルの照度設定
	デュアル再生	オン オフ	MP3とJPEGの同時再生オン/オフの設定
	スライドショー	5秒 10秒 ミュージック	JPEGの表示時間の設定

- 設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。
- 停止状態でないと、セットアップ機能は利用できません。
- メニュー画面付きDVDを再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。
- QUICK とかかれた項目は、クイックセットアップモード内で設定できます。[➡ 66～67ページ]
その他の項目は、カスタムセットアップモード内で設定を変更してください。

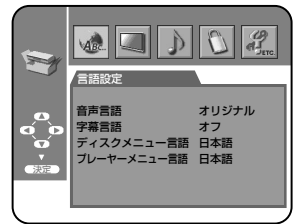
初期設定をかえる(セットアップ)

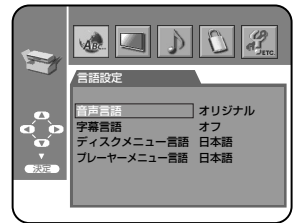
言語設定

再生中の場合、停止(■)を押します。

1 セットアップ ◯ を押す

● 「セットアップ画面」が表示されます。

2 ◁/▷ を押して"CUSTOM"を選択し、決定 を押す

●カスタムモードが表示されます。

3 ◁/▷ を押して"ABC"を選択し、決定 を押す

● 「言語設定画面」が表示されます。

4 △/▽ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

● ◁ を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

音声言語（初期設定：オリジナル）
再生ディスクの言語(音声)を選択します。
＊オリジナル：ディスクのオリジナル言語(音声)となります。

決定 を押す

△/▽ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

初期設定をかえる

初期設定をかえる(セットアップ)

字幕言語（初期設定：オフ）
再生ディスクの言語(字幕)を選択します。
＊オフ：字幕なしとなります。

▲/▼を押して
選択したい項目を選び、
決定を押す

ディスクメニュー言語（初期設定：日本語）
ディスクメニューの表示言語を選択します。
＊オリジナル：ディスクのオリジナルディスクメニューとなります。

▲/▼を押して
選択したい項目を選び、
決定を押す

音声言語または字幕言語、ディスクメニュー言語に入っていない言語を選ぶ場合

[その他]を選択し、言語コード設定画面を表示させ決定を押します。57ページのリストを参照しながら数字ボタンを押して希望する言語コードを入力します。

プレーヤーメニュー言語（初期設定：日本語） QUICK
本機の設定画面や画面表示の言語を選択します。

▲/▼を押して
選択したい項目を選び、
決定を押す

5 セットアップ ◎ を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

初期設定をかえる

ちょっと一言！

- 一部のディスクでは音声と字幕の言語設定が利用できませんので、ディスクメニュー画面で言語設定を行ないます。

言語コード一覧表

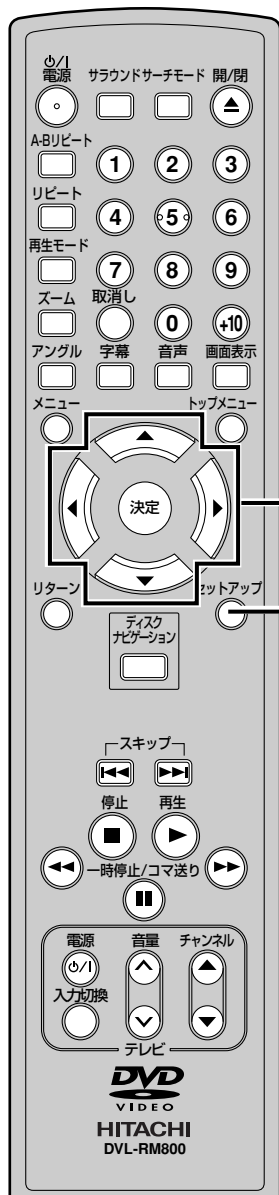
言語名	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語	5047
ドイツ語	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語	5158
英語	5160
エスペラント語	5161
スペイン語	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語	5264
フリジア語	5271
アイルランド語	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語	5467
アルメニア語	5471

言語名	言語コード
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語	5565
イタリア語	5566
ヘブライ語	5569
日本語	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語	6058
ノルウェー語	6061
プロバンス語	6149
アファン語	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語	6266

言語名	言語コード
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語	6461
ロシア語	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語	7254
ズルー語	7267

初期設定をかえる(セットアップ)

ビデオ設定

再生中の場合、停止(■)を押します。

1 セットアップ ◯ を押す

● 「セットアップ画面」が表示されます。

2 ◁/▷ を押して"CUS TOM"を選択し、決定を押す

● カスタムモードが表示されます。

3 ◁/▷ を押して" "を選び、決定を押す

● 「ビデオ設定画面」が表示されます。

4 △/▽ を押してそれぞれの項目を選び、決定を押す

● ◁ を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

初期設定をかえる(セットアップ)

TV出力設定（初期設定：4:3 レターボックス） QUICK
4:3 レターボックス：上下に黒い帯つきの画面
4:3 パンスキャン：左右をカットした画面
16:9ワイド：ワイド画面テレビに接続されている場合、自動的に横長の画面になります。

/ を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す

スチルモード（初期設定：オート）
一時停止時の画質を設定します。
オート　　　：通常はこの設定を選びます。
フィールド　：オートに設定しても画像のブレが発生するとき設定します。[フィールド]を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。
フレーム　　：動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいとき選びます。[フレーム]を選択すると、画質は良くなりますが、２枚のフィールドを同時に出力させるため、画像にブレを生じることがあります。

/ を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す

■**テレビの1枚の画面のことをフレームと呼び、1枚のフレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面から作られています。**
[スチルモード]の[オート]を選択しているときに、静止画によっては、画像にブレを生じることがあります。

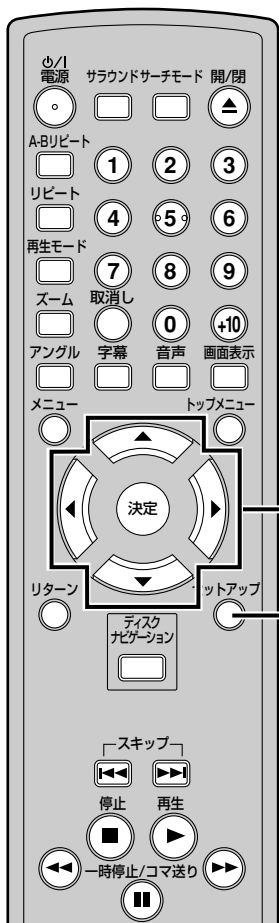
ロゴ（初期設定：オン）
背景画面表示の有無を設定します。オフ時には背景が黒画面となります。
（また電源を入れたときは、5秒間ロゴ画面を表示してから黒画面になります。）
＊プラズマテレビや液晶テレビと接続している場合は、ロゴ設定を[オフ]にしてください。CD再生などで背景画面を表示しているとテレビに背景画面の残像が残ることがあります。

5

セットアップ ◎ **を押す**
● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

初期設定をかえる(セットアップ)

オーディオ設定

再生中の場合、停止(■)を押します。

1 セットアップ を押す

● 「セットアップ画面」が表示されます。

2 ◁/▷ を押して "CUSTOM" を選択し、決定 を押す

● カスタムモードが表示されます。

3 ◁/▷ を押して "♪" を選び、決定 を押す

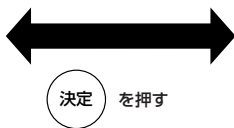
● 「オーディオ設定画面」が表示されます。

4 △/▽ を押して項目を選び、決定 を押す

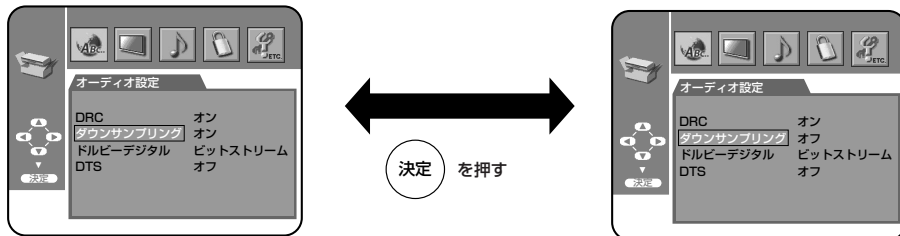
● ◁ を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

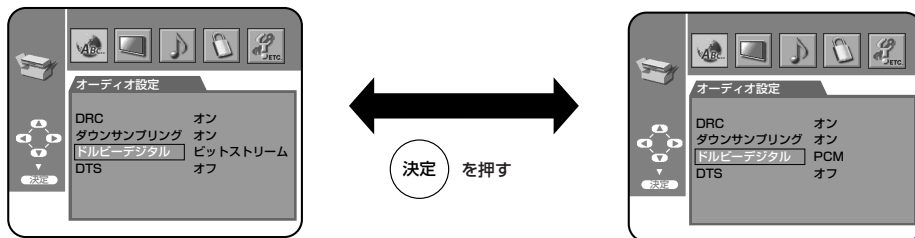
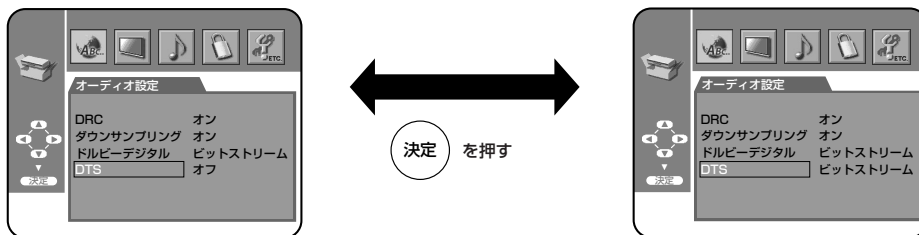
DRC（初期設定：オン）
オン：ダイナミックレンジを圧縮します。

● この機能は音量範囲をコントロールするものです。音量範囲を圧縮することにより出力を抑制するだけでなく低音部の音量を上げることもできます。
● この機能はドルビーデジタルで録音した音声の場合のみ有効です。

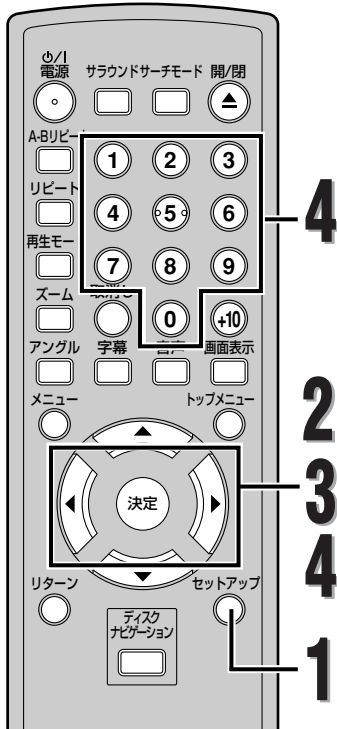
決定 を押す

初期設定をかえる(セットアップ)

ダウンサンプリング（初期設定：オン）
デジタル端子接続時、96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換する/しないを設定します。また、96kHzの高音質で楽しむためには96kHzに対応したアンプに接続する必要があります。

オフ：96kHzで出力されますが、ディスクのコピーガード機能がはたらいているとき、96kHzで録音された音は、デジタル出力で48kHzに変換して出力されます。
オン：96kHzに対応していないアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

- **ダウンサンプリング設定は、96KHzで録音されたディスクをデジタル接続で出力しているときのみ有効になります。**

ドルビーデジタル（初期設定：ビットストリーム） QUICK
ビットストリーム： ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。
PCM： ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。

DTS（初期設定：オフ） QUICK
ビットストリーム： DTSデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。
オフ： DTSに対応しないアンプと接続したときに選びます。このとき、DTS音声は出力されません。

セットアップ ◎ を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

- **メニュー画面付きDVDディスクを再生したときは、ディスクメニューでも設定が必要となることがあります。**

初期設定をかえる(セットアップ)

パレンタル設定（視聴制限）

再生中の場合、停止(■)を押します。

1

セットアップ ◯ を押す

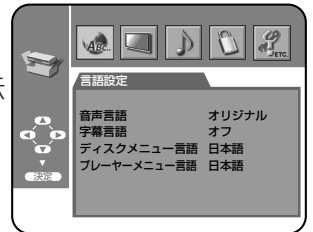
- 「セットアップ画面」が表示されます。

2

◁ / ▷ を押して"CUSTOM"を選択し、決定を押す

- カスタムモードが表示されます。

3

◁ / ▷ 押して"🔒"を選び、決定を押す

- 「パレンタル設定画面」が表示されます。

4

数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力する

- ◁ を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。
- 最初に設定をするとき、任意の4桁の数字を入力し 決定 を押します。
  この数字は次回からパスワードとして使用されます。忘れないようにご注意ください。
- パスワードを入力して、パレンタルレベルとパスワード設定を変更することができます。
- 「4737」をパスワードにすることはできません。

パレンタル（視聴制限）について

ディスクによって、子供に見せたくないシーンをカットしたり、再生できなくするなど、視聴規制レベルが設定されているものがあります。本機では子供が設定を変えることのないように、パスワードで設定を保護することができます。

本機はディスクにパレンタルコードが記録してあればパレンタルロックをかけることができます。パレンタルロック対応のディスクを再生したとき、暴力シーン等、子供には見せたくない部分を飛ばして見ることができます。選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを解除しないかぎり、再生できません。

初期設定をかえる(セットアップ)

5 ▲/▼押して項目を選び、決定を押す

[パスワード変更]を選択した場合

- 数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、決定を押します。

[パレンタルレベル]を選択した場合

- ▲/▼を押して[オール]または[8]～[1]までの項目を選び、決定を押します。

(オール)

パレンタルロックをオフ状態にします。

(レベル8)

どのグレードのDVDディスク（成人、一般、子供）でも再生できます。

(レベル7から2)

一般用と子供向けのDVDディスクのみ再生できます。

(レベル1)

子供用のDVDディスクのみ再生できます。成人向け、一般用のDVDディスクは利用できません。

ちょっと一言！

- 設定した方法で、パレンタルロック機能が作動するか確認してください。
- パスワードを忘れないように、どこかに書きとめておいてください。

6 セットアップを押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

パスワードを忘れたとき

62ページ手順4で以下の操作を行なって下さい。
※ワイヤレスリモコンの[4]、[7]、[3]、[7]の順にボタンを押すと、すでに入力されていたパスワードが解除されます。

初期設定をかえる(セットアップ)

その他の設定

再生中の場合、停止(■)を押します。

1 セットアップ を押す

●「セットアップ画面」が表示されます。

2 ◀/▶ を押して "CUSTOM" を選択し、決定 を押す

●カスタムモードが表示されます。

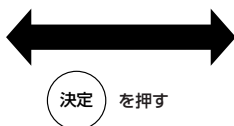
3 ◀/▶ を押して "ETC." を選び、決定 を押す

●「その他画面」が表示されます。

ちょっと一言!

● 手順3以降は、◀ または リターン を押すと、前画面に戻ることができます。

4 ▲/▼ を押して項目を選び、決定 を押す

アングルマーク（初期設定：オン）
画面上にアングルマークを表示／非表示します。

初期設定をかえる(セットアップ)

表示窓の明るさ（初期設定：明るい）
本機表示窓の表示輝度を調整します。
＊自動：再生中のみ暗転します。

△/▽を押して
選択したい項目を選び、
を押す

デュアル再生（初期設定：オフ）
オン：　MP3とJPEGを同時に楽しみたいときに選びます。
オフ：　MP3とJPEGを別々に楽しみたいときに選びます。

スライドショー（初期設定：5秒）
JPEG再生時のスライドショー時間を設定します。
5秒　　　　　：約5秒ごとに画像が切り換わります。
10秒　　　　 ：約10秒ごとに画像が切り換わります。
ミュージック：MP3とJPEGを同時に再生しているときは、MP3の切り換わりにあわせて画像が切り換わります。JPEGのみを再生しているときは、5秒ごとに画像が切り換わります。

△/▽を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す

5

セットアップ ◯ を押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

初期設定をかえる

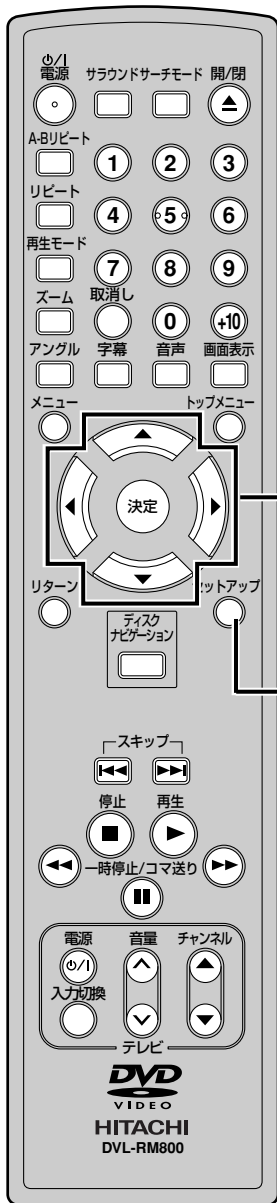
ちょっと一言!

- デュアル再生用のディスクを作成する場合は、JPEGファイルの容量が3MB以下、画像の大きさが縦×横4,000×4,000ピクセル以下のファイルを使用してください。この数値を越えるJPEGファイルは、再生できないことがあります。
- 「初期設定」の[スライドショー]表示時間設定が、[5秒]または[10秒]であっても、JPEGファイルの画像サイズが大きい場合、表示時間が長くなる場合があります。

初期設定をかえる(セットアップ)

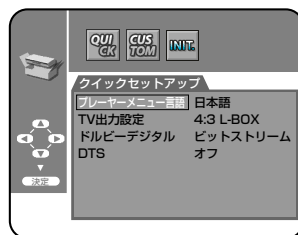
クイックセットアップ

各設定の主要項目はクイックセットアップモード内から設定できます。

再生中の場合、停止(■)を押します。

1 セットアップを押す

● 「セットアップ画面」が表示されます。

2 ◀/▶を押して"QUICK"を選択し、決定を押す

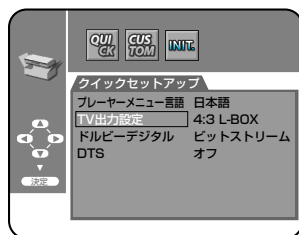
● クイックセットアップモードが表示されます。

3 ▲/▼を押してそれぞれの項目を選び、決定を押す

● ◀を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。

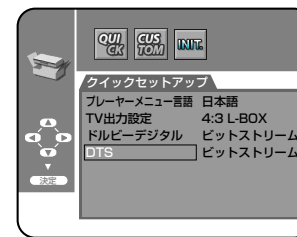
初期設定をかえる(セットアップ)

プレーヤーメニュー言語（初期設定：日本語） QUICK
本機の設定画面や画面表示の言語を選択します。

▲/▼ を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す

TV出力設定（初期設定：4:3 レターボックス） QUICK
4:3 レターボックス：上下に黒い帯つきの画面
4:3 パンスキャン：左右をカットした画面
16:9ワイド：ワイド画面テレビに接続されている場合、自動的に横長の画面になります。

▲/▼ を押して
選択したい項目を選び、
決定 を押す

ドルビーデジタル（初期設定：ビットストリーム） QUICK
ビットストリーム： ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。
PCM： ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。

DTS（初期設定：オフ） QUICK
ビットストリーム： DTSデコーダーを搭載したアンプと接続したときに選びます。
オフ： DTSに対応しないアンプと接続したときに選びます。このとき、DTS音声は出力されません。

セットアップ ◯ **を押す**

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

初期設定をかえる(セットアップ)

パレンタル設定以外の設定を初期化する

1

セットアップ ◯ を押す

- 「セットアップ画面」が表示されます。

2

◁/▷ を押して"INIT."を選択し、

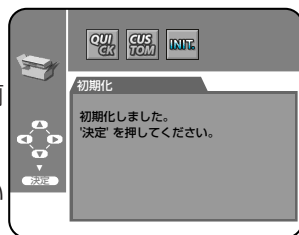
決定 を押す

- 「初期化画面」が表示されます。

3

△/▽ を押して[はい]を選び、

を押す

- ◁ を押すと、ひとつ前の項目に戻ります。
- メッセージにしたがいもう一度 決定 を押す。

4

セットアップ ◯ を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます

故障かな？と思ったときは

ここをお調べください

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買上げの販売店にお問い合わせください。

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
電源が入らない 操作ができない	※電源プラグがはずれている ※停電で電源が切れている ※静電気など外部からの影響を受けている	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込む ●安全保護装置が働いていることがあります。このときは、1度電源プラグをコンセントから抜き、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください	―― ――
ワイヤレスリモコンで操作できない	※ワイヤレスリモコンが本機の受光部に向いていない ※ワイヤレスリモコンと本機が離れすぎている ※ワイヤレスリモコンと本機の受光部の間に障害物がある ※ワイヤレスリモコンの乾電池が消耗している	●ワイヤレスリモコンを本機の受光部に向ける ●7m以内の所で操作する ●障害物を取り除く ●乾電池を交換する	―― ―― ―― 16
画像が出ない	※映像接続コードがはずれている ※違う種類のディスクが入っている ※ビデオやビデオ内蔵テレビと接続しているため、コピーガード機能が働いている	●映像接続コードをしっかり接続する ●再生できるディスク以外のものが入っていないか確認する ●本機とテレビを直接接続する	19 11 19
再生が始まらない	※結露が発生している ※ディスクが入っていない ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクが汚れている ※パレンタル設定(視聴制限)が有効になっている	●電源「入」のまま、しばらく放置する ●ディスクを入れる ●ディスクのラベル面を上にして、正しく入れ直す ●ディスクを清掃する ●パレンタル設定を解除するか、規制レベルを変更する	8 22 22 8 62～63
音声が出ない	※音声接続コードがはずれている ※音声出力の選択が正しくない ※音声接続をしている機器の電源が入っていない ※音声接続をしている機器の入力切り換えが正しくない ※DTS音声を再生している	●音声接続コードをしっかり接続する ●音声出力の選択を正しく行なう ●音声接続をしている機器の電源を入れる ●音声接続をしている機器の入力切り換えを正しく行なう ●デジタル音声出力端子に接続する	19～21 60～61 ―― ―― 21
映像が乱れる	※ビデオやビデオ内蔵テレビと接続しているため、コピーガード機能が働いている ※早送り、早戻しをした直後である ※携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している	●本機とテレビを直接接続する ●画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません ●本機から離して使用する	19 ―― 23
セットアップで選んだ音声言語、字幕言語にならない	※DVDディスクにセットアップで選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	46～47
アングルを変えて見ることができない	※DVDディスクに複数のアングルが記録されていない	●DVDディスクに複数のアングルが記録されているか確認する	48
音声言語、字幕言語の切り換えができない	※DVDディスクに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	46～47
テレビ画面に“⃠”が表示され、操作できない	※本機またはディスクがその操作を禁止しています	●故障ではありません	23
再生中に画像が動かなくなる	※ディスクがDVDディスクの仕様を満たしていない ※ディスクが汚れている ※ディスクにキズがある ※2層ディスクが1層から2層に切り換わった ※原因がはっきりしないとき	●故障ではありません ●ディスクを清掃する ●キズのないディスクと取り替えて再生する ●映像が一瞬とまることがありますが、故障ではありません ●停止ボタンを押してから再生ボタンを押してみる 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、再度電源プラグを差し込み再生してみる	―― 8 ―― 22 ――
勝手に電源が切れる	※停止状態で30分経過すると、自動的に電源「切」状態になります	●再度、電源を入れ直す	――
“ディスクエラー --ディスクを取り出してください。-- 再生可能なディスクを挿入してください。” と画面表示される	※再生できないディスクが入っている ※ディスクが汚れている ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクにキズがある	●再生できるディスクを入れる ●ディスクを清掃する ●ディスクのラベル面を上にして正しく入れ直す ●キズのないディスクと取り替えて再生する	11 8 22 8
“リージョンエラー --ディスクを取り出してください。-- この地域での再生は禁止されています。” と画面表示される	※リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている	●リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れる	11
“パレンタルエラー 現在のパレンタル設定では再生が制限されています。と画面表示される”	※パレンタル設定が有効になっている	●パレンタル設定を変更する	62～63

- 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ディスクにより音量が異なる事がありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。

その他

索引

あ行

か行

さ行

た行

索引

その他

用語の解説

用語	説明
D1/D2映像出力端子（D端子）	デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号です。D映像入力端子やコンポーネント映像入力（Y、C_B、C_R）端子でテレビと接続することにより、よりきれいな映像が楽しめます。
DRC	ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と最小の信号レベルを上げ、最大の信号レベルを下げて音声の強弱の幅を調節します。DRCオン／オフを切り換えることにより、破裂音のような強い音が低減される一方、人の会話などはっきり聞こえるようになるため、深夜に映画を見るときなどに効果があります。
DTS	Digital Theater Systemの略です。デジタルシアターシステムズ社が開発したデジタル音声システムです。音声6chを使って、正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。DTS対応プロセッサやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。ドルビーデジタルとは異なるサラウンドシステムです。
JPEG	Joint Photographic expert groupの略でジェーペグと読みます。静止画像などを圧縮、伸長させる機能を持ったアルゴリズムです。
MP3	MP3ファイル形式で圧縮された音楽テータのことです。本機ではMP3ファイル形式で記録されたCD-ROM、CD-R、またはCD-RWディスクを再生することができます。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDの映像/音声はこの方式で記録されています。
WMA	Windows Media Audioの略です。アメリカ合衆国、マイクロソフト社によって開発された新型の音声codecです。
拡張子	OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。
黒レベル	暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくする機能です。
コンポーネント映像出力	Y/C_B/C_Rの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が楽しめます。
視聴制限（パレンタルレベル）	DVDディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
初期設定	本機でディスクを再生して楽しむための、映像出力設定や視聴制限（パレンタルレベル）などを設定します。
ズーム	テレビ画面で見ている映像の一部を、拡大表示する機能です。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名（タイトル）などをいいます。
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターと言います。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。

その他

用語の解説

用語	説明
ダイナミックレンジ	ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル（dB）単位で測定されます。
ドルビーデジタル（5.1ch）	ドルビー社が開発した立体音響効果のことです。5.1chの独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。ドルビーデジタルを楽しむには、本機のデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック（ファイル）	音楽用CDの各曲をトラック（ファイル）と言います。
4:3パンスキャン	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です。 テレビ画面
光デジタル音声出力	音声は通常、電気信号に変えてDVDからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル音声出力です。
ピックアップレンズ	ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。
ビットレート	ディスクに記録された映像・音声のデータを1秒間に読み込む量をあらわします。
プログレッシブ	接続したテレビがプログレッシブ映像に対応しているとき、従来方式のインターレーススキャン方式より、ちらつきの少ない高密度の画像を楽しむことができます。
マルチアングル	同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。
リジューム	ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機がメモリーし、停止した位置から続けて再生することができる機能です。
リニアPCM	PCMとは、Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。リニアPCMとは圧縮していないPCM信号です。CDの音声と同じ方式ですが、DVDの場合、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。
リニアPCM音声	音楽用CDなどに用いられている信号記録方式です。
リージョン番号（再生可能地域番号）	DVDは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。
4:3レターボックス	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。 テレビ画面

その他

仕　　　様

項目		仕様
使用可能ディスク		DVDビデオディスク 音楽用CDディスク
出力信号方式		NTSCカラー方式
周波数特性		DVD（リニア音声） 20Hz～22kHz（48kHzサンプリング周波数） 20Hz～44kHz（96kHzサンプリング周波数） 音楽用CD 20Hz～20kHz (JEITA)
信号対雑音比（S／N比）		CD：120dB (JEITA)
ダイナミックレンジ		DVD(リニア音声): 100dB、CD：99dB (JEITA)
総合ひずみ率		CD：0.0045%、DVD：0.0045%
ワウ・フラッター		測定限界（±0.001%　W　PEAK）以下
端　子	S映像出力	ミニDIN 4pin (75Ω) （Y）1.0 V(p-p) (75Ω) （C）0.286 V(p-p) (75Ω)
	映像出力	ピンジャックX1　1V(p-p) (75Ω)
	コンポーネント映像出力	Y、C_R/P_R、C_B/P_B出力端子、D1/D2出力端子
	光デジタル音声出力	光コネクタ
	同軸デジタル音声出力	ピンジャックX1　0.5V(p-p) (75Ω)
	アナログ音声出力	ピンジャックX2（左チャンネルX1、右チャンネルX1） 2V(rms) (100kΩ)
電　源		AC100V/50Hz,60Hz
消費電力		約10.0W（待機時: 約0.8W）
許容温度範囲		＋5℃～40℃
許容湿度範囲		5%～75%（結露がなきこと）
寸　法		435mm（幅）x 51mm（高さ）x 211mm（奥行）
質　量		約1.3kg

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120−3121−68 FAX 0120−3121−87	TEL 0120−3121−11 FAX 0120−3121−34

＊ダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

＊お客さまが弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。

＊ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

＊出張修理のご依頼をいただいたお客さまへ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。
保証期間…お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

DVDプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

69ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	DVDプレーヤー
形　　名	(DVDプレーヤー) DVL-P800 (リ モ コ ン) DVL-RM800
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お 名 前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

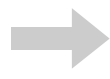
ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日

長年ご使用のDVDプレーヤーの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか。

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 変なにおいがしたり、煙りが出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。

株式会社　日立リビングサプライ

〒162-0814　東京都新宿区新小川町6-29　アクロポリス東京
TEL.（03）3260-9611

Printed in China
E6111JD ★★★★
1VMN20771A